

令和4年度
事業報告

自 令和 4年 4月 1日
至 令和 5年 3月 31日

公益社団法人 神奈川県薬剤師会

はじめに

令和2年1月以来、国内で3年以上の長きにわたって蔓延が続いてきた新型コロナウイルス感染症は、令和5年5月8日をもって感染症法上の位置づけが「2類相当」から「5類」に移行されました。

感染が始まった当初は、多くの人々がこのウイルスを恐れ、一時社会は混乱を極めました。時間の経過とともにウイルスの病原性や感染力が徐々に変化するとともに、この間に新たなワクチンや治療薬が開発され、医療体制も確立されてきました。

また、国民の感染症予防に対する意識や日常の生活様式も大きく変わってきており、社会全体は落ち着きを取り戻しつつあります。そして現在では、新型コロナウイルスの「制圧」から、いわゆる「ウィズコロナ」へと社会は変貌を遂げようとしています。

そのような状況下、本会は公益社団法人として、薬剤師職能の向上並びに薬学・薬業の進歩発展を図ることを通じ、県民の健康増進、福祉、保健衛生及び地域医療の向上に寄与するという使命・役割を果たすべく、令和4年度の各種事業を推進してまいりました。

具体には、新型コロナウイルスの県内感染状況を勘案し、薬物乱用防止の啓発イベントである「ダメ。ゼッタイ。」普及運動街頭キャンペーン等、一部の対面型イベントを中止したものの、「くすりと健康すこやかフェア」を3年ぶりに横浜駅東口で開催するなど、コロナ禍前から行ってきた活動を再開させることができました。

また、今回は本会単独での開催となった「神奈川県薬剤師会学術フォーラム」をはじめ、多くの事業や研修会、会議をweb形式も取り入れながら実施し、一定の成果を上げました。

あわせて、新型コロナウイルス感染拡大防止に向けて、国や県などの取組に積極的に協力し、前年度に引き続き「薬局における薬剤交付支援事業」を実施した薬局に対して支援を行うとともに、地域薬剤師会のご協力を賜りながら、薬局における無料検査の実施及び抗原検査キットの販売体制の充実・強化ならびに薬局に対するコロナ治療薬の配分にかかる調整などを行いました。さらに、令和4年12月から県が医師会と連携して実施した「県コロナオンライン診療センター」事業にご協力いただける薬局の情報提供を行いました。

この間、県に対して、県独自の薬剤交付支援事業の実施要望や、令和4年8月に行われた抗原検査キット無償配布事業に対する配慮の申し入れ等も行いました。

こうした中、本会の2大事業のひとつとして取り組んできた「認定薬剤師研修制度」

については、令和4年度に新規12名、更新18名を認定し、通算認定者数は前年度から8名増の51名となりました。一方、もうひとつの「くすりと健康相談薬局」事業については、令和4年度は新規14件、更新64件を認定し、継続とあわせて前年度とほぼ同数の259薬局となりました。

また、「かかりつけ機能向上研修会」を開催し、妊産婦等に対する適切な服薬管理や女性の健康支援を推進する取組を進めるとともに、薬剤師によるワクチン接種が必要になった際に迅速に対応できるよう備えておくことを目的とした「薬剤師のための予防接種研修会」を開催するなど、今日の薬剤師を取り巻く新たな課題への対応力を高める取組を進めました。

このように、令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響を克服しながら各種事業を着実に実施し、同時に63.8%の公益目的事業比率を確保することで、公益社団法人としての使命をしっかりと果たしました。

目 次

頁

会務報告

1 会員数	-----	1
2 各種会議開催状況	-----	1
3 各種委員等就任状況	-----	4
4 会員の表彰	-----	9
5 厚生労働省、日本薬剤師会等の会議参加状況	-----	10

事業報告

I 公益事業

1 薬学・薬業の進歩発展に関する事業	-----	13
2 児童・生徒等に関する事業	-----	17
3 医薬品適正使用に関する事業	-----	19
4 医療安全に関する事業	-----	25
5 公衆衛生に関する事業	-----	27
6 地域医療に関する事業	-----	30
7 災害時医療救護活動に関する事業	-----	37

II 法人事業

1 法人組織運営に関すること	-----	39
(1) 総会、理事会等開催など	-----	39
(2) 組織強化と財務の健全化	-----	39
(3) 会員管理	-----	39

III 共益事業

(1) 薬剤師の生涯学習の推進	-----	41
(2) リスクマネジメント等事業	-----	53
(3) 広報事業	-----	55
(4) 会員に向けた各種支援	-----	59

IV 収益事業

(1) 会議室等賃貸事業	-----	60
(2) 書籍等販売事業	-----	60
(3) 神奈川県総合薬事保健センターLED化工事	-----	60
(4) 神奈川県総合薬事保健センターの長寿命化に向けた取組	-----	60

その他

・地域薬学ケア専門薬剤師認定制度に係る事業	-----	62
-----------------------	-------	----

参考資料

令和4年度公益社団法人神奈川県薬剤師会事業計画	-----	63
令和4年度事業体系図	-----	65
令和4年度神奈川県薬剤師会各種委員会委員一覧	-----	67
令和4年度神奈川県薬剤師会組織図	-----	68

会 務 報 告

1 会員数

	第 1 種 会 員	2,313人	(対前年 37人減)
会員総数 3,948人	第 2 種 会 員	1,373人	(対前年 55人減)
(対前年 113人減)	第 3 種 会 員	39人	(対前年 5人減)
	賛 助 会 員	212人	(対前年 17人減)
	名 誉 ・ 有 功 会 員	11人	(対前年 1人増)

(令和5年3月31日現在) (P12参照)

2 各種会議開催状況

(1) 総 会 2回

① 通常総会

日 時	令和4年6月19日(日) 13:00~15:16
場 所	神奈川県総合薬事保健センター
代議員総数	68名(定数)
出席者数	出席者 68名 内訳 出席 56名 委任状 3名 書面表決 9名
報告事項	報告第1号 令和3年度事業報告について 報告第2号 日本薬剤師会第99回臨時総会について
審議事項	議案第1号 令和3年度決算の承認について 賛成多数により原案どおり承認された。 議案第2号 代議員選挙管理委員会委員の指名について 賛成多数により原案どおり承認された。 議案第3号 役員選挙管理委員会委員の指名について 賛成多数により原案どおり承認された。

② 臨時総会

日 時	令和5年3月5日(日) 13:00~16:18
場 所	神奈川県総合薬事保健センター
代議員総数	68名(定数)
出席者数	出席者 65名 内訳 出席 53名 委任状 3名 書面表決 9名
審議事項	議案第1号 令和5年度事業計画について 賛成多数により原案どおり可決された。 議案第2号 令和5年度収支予算について 賛成多数により原案どおり可決された。 議案第3号 令和5年度借入金最高限度額について 賛成多数により原案どおり可決された。

議案第4号 名誉会員の承認について

賛成多数により原案どおり可決された。

議案第5号 神奈川県薬剤師会会長候補者の選任について

越田役員選挙管理委員会委員長からの説明の後、選出方法が議長に一任された。立候補者は1名で、会長候補者選挙規則第10条により選ぶべき員数を超えなかったため、投票は行わず、当選としてよいか諮られ、賛成多数により、小川護候補が会長候補者に選任された。

- (2) 理事会 6回 (5/19、7/14、9/22、11/10、12/15、1/26)
- (3) 常務理事会 25回 (4/7、4/21、5/12、5/26、6/2、6/16、7/7、7/21、8/4、8/18、9/1、9/15、10/6、10/27、11/2、11/17、12/1、12/15、1/5、1/19、2/2、2/16 (臨時)、2/22、3/2、3/16)
- (4) 監査会 2回 (5/16、11/15)

(5) 地域・職域薬剤師会会長協議会 4回

開催日	講演内容等
第1回 (4/28)	講演：令和4年度調剤報酬改定について 講師 藤本直樹氏 (医療・介護保険委員会)
第2回 (7/28)	講演：規制改革の現状などについて 講師 磯部総一郎氏 (前 日本薬剤師会専務理事)
第3回 (11/24)	講演：これからの薬局機能と薬局DXについて 講師 田尻泰典氏 (日本薬剤師会副会長)
第4回 (2/16)	講演：インボイス制度への対応について 講師 並木雄一郎氏 (税理士法人川原経営)

(6) 委員会

- ① 組織会員委員会 3回 (5/24、8/16、12/9)
 ・会員関係小委員会 3回 (6/28、10/7、2/14)
 ・災害関係小委員会 2回 (6/9、11/22)
- ② 広報委員会 4回 (6/1、7/29、1/16、3/8)
 ・HP打合せ会 3回 (4/15、10/12、11/9)
- ③ 薬壺編集委員会 6回 (5/25、7/27、9/28、11/30、1/25、3/29)
- ④ 生涯学習委員会 3回 (5/11、9/30、2/8)
 ・研修企画・運営小委員会 5回 (4/26、7/1、9/5、12/7、2/17)
 ・認定薬剤師認定小委員会 11回 (4/11、5/16、6/20、8/25、9/13、10/12、11/11、12/14、1/20、2/17、3/17)
 ・外部評価小委員会 1回 (6/24)

⑤ 医療・介護保険委員会	4回 (6/22、9/1、10/13、3/2)
・在宅小委員会	1回 (7/12)
・調剤業務適正小委員会	1回 (11/30)
⑥ 公衆衛生・学薬委員会	4回 (5/11、8/31、10/5、12/1)
・小委員会	0回
⑦ 地域保健委員会	5回 (6/24、9/2、10/28、1/27、3/24)
⑧ リスクマネジメント委員会	4回 (6/2、7/7、9/8、2/2)
・リスク対策小委員会	1回 (7/1)
・薬局コンプライアンス小委員会	1回 (6/28)
・薬局プレアボイド小委員会	1回 (6/28)
・リスクマネジメント小委員長会	3回 (4/27、10/6、1/20)
⑨ 倫理研修委員会	3回 (4/19、8/2、1/16)
⑩ 学術大会実行委員会	3回 (10/25、12/21、2/13)
・役員等打合せ会	4回 (10/11、11/28、1/27、3/24)
⑪ 実務実習委員会	4回 (5/12、9/5、12/8、2/9)
・アドバンスワークショップ検討会	0回
⑫ 総会議事運営委員会	2回 (4/21、1/19)
⑬ 代議員選挙管理委員会 (書類審査含む)	0回
⑭ 役員選挙管理委員会 (書類審査含む)	3回 (11/29、2/20、3/16)
⑮ 第2次公益法人運営特別会費検討委員会	3回 (6/30、9/15、2/28)
⑯ 医薬品適正使用検討委員会	1回 (10/24書面開催)
⑰ くすりと健康相談薬局運営協議会	4回 (4/7、8/4、10/6、2/2)
⑱ くすりと健康すこやかフェア実行委員会	2回 (6/28、9/21)

(7) その他会議

- ① 正副会長会 15回 (4/7、5/12、6/2、6/16、7/7、8/4、9/1、10/6、11/2、11/17、12/15、1/5、2/2、3/2、3/16)
- ② 春秋会 1回 (4/14)
- ③ 倫理審査会 (迅速審査含む) 2回 (5/17、2/13)
- ④ 各種委員会委員長会議 3回 (臨時4/21、10/27、3/16)
- ⑤ 新しい薬局・薬剤師のあり方検討WG 1回 (8/24)
- ⑥ 神奈川県薬剤師会学術フォーラムWG 1回 (5/26)
- ⑦ 日薬・県薬委員等との意見交換会 1回 (3/23)

3 各種委員等就任状況

《行政関係》

(令和5年3月31日現在)

No	審議会等名	委員等	役職名	関係部署
1	関東信越地方社会保険医療協議会神奈川部会	小川会長	臨時委員	関東信越厚生局
2	神奈川県薬事審議会	小川会長	副会長	薬務課
3	神奈川県薬事審議会薬物評価検討部会	小川会長	会長	薬務課
4	神奈川県献血推進協議会	唐澤理事	委員	薬務課
5	神奈川県薬物乱用対策推進本部本部会	小川会長	本部員	薬務課
6	神奈川県薬物乱用対策推進本部青少年・啓発部会	石渡理事	部会員	薬務課
7	神奈川県後発医薬品使用促進協議会	阿部理事	委員	薬務課
8	薬物クリーンかながわ推進会議	小川会長	会長	薬務課
9	薬物クリーンかながわ推進会議運営委員会	後藤副会長	委員	薬務課
10	薬物クリーンかながわ推進会議広報委員会	伊藤常務理事	委員	薬務課
11	神奈川県医療審議会	小川会長	委員	医療課
12	神奈川県保健医療計画推進会議	橋本副会長	委員	医療課
13	神奈川県保健医療計画推進会議糖尿病連携検討部会	唐澤理事	委員	医療課
14	神奈川県医療安全推進協議会	後藤副会長	委員	医療課
15	神奈川県医療安全対策事業実行委員会	佐藤常務理事	委員	医療課
16	神奈川県医療勤務環境改善支援センター連絡調整会議	泉理事	委員	医療課
17	神奈川県地域医療介護連携ネットワーク構築検討会議	後藤副会長	委員	医療課
18	神奈川県外国人医療推進検討会議	伊藤常務理事	委員	医療課
19	神奈川県災害医療対策会議	後藤副会長	委員	医療危機対策本部室

No	審議会等名	委員等	役職名	関係部署
20	神奈川県災害医療対策会議災害時医療救護対策部会（医療救護体制部会）	後藤副会長	構成員	医療危機対策本部室
21	神奈川県災害医療対策会議災害時医療救護対策部会（ロジスティック部会）	寺師常務理事	構成員	医療危機対策本部室
22	神奈川県エイズ対策推進協議会	八楯理事	運営委員	医療危機対策本部室
23	神奈川県感染症対策協議会	橋本副会長	委員	医療危機対策本部室
24	神奈川県抗原検査キット適正使用推進協議会	小川会長 長津副会長	オブザーバー	医療危機対策本部室
25	神奈川県医療費検討委員会	後藤副会長	委員	医療保険課
26	神奈川県国民健康保険運営協議会	後藤副会長	委員	医療保険課
27	かながわ健康プラン 21 推進会議及びがん克服県民会議	寺師常務理事	委員	健康増進課
28	医食農同源研究会 〈漢方理解促進等検討部会委員兼務〉	坂本理事	委員	健康増進課
29	神奈川県アレルギー疾患対策推進協議会	金子理事	委員	健康増進課
30	神奈川県公衆衛生協会	小川会長	理事	健康増進課
31	スモークフリー推進かながわ基金運営委員会	石渡理事	委員	健康増進課
32	神奈川県慢性腎臓病（CKD）対策連絡協議	竹内専務理事	委員	がん・疾病対策課
33	神奈川県慢性腎臓病（CKD）診療連携構築協議会	阿部理事	委員	がん・疾病対策課
34	神奈川県在宅医療推進協議会及び神奈川県地域包括ケア会議	佐藤常務理事	委員	医療課 高齢福祉課
35	かながわ高齢者保健福祉計画評価・推進等委員会	長津副会長	委員	高齢福祉課
36	神奈川県認知症施策推進協議会	佐藤常務理事	委員	高齢福祉課
37	神奈川県学校喫煙・飲酒・薬物乱用防止対策推進協議会	小川会長	委員	保健体育課
38	神奈川県学校給食特別優良学校現地審査会	山形理事	委員	保健体育課
39	学校給食表彰審査会	山形理事	委員	保健体育課
40	学校保健及び学校安全表彰（文部科学大臣表彰）に係る選考委員会	小川会長	委員	保健体育課

No	審議会等名	委員等	役職名	関係部署
41	神奈川県自然環境保全審議会温泉部会	夏目理事	委員	生活衛生課
42	神奈川県医療通訳派遣システム事業運営委員会	伊藤常務理事	委員	国際課
43	かながわ地球環境保全推進会議（県民部会）	石渡理事	推進委員	環境計画課
44	かながわ青少年社会環境健全化推進会議	小川会長	委員	青少年課

《その他》

(令和5年3月31日現在)

No	審議会等名	委員等	役職名	関係団体
1	(公社)日本薬剤師会	長津副会長	常務理事	日本薬剤師会
2	(公社)日本薬剤師会 法制委員会	関水康成	委員	日本薬剤師会
3	(公社)日本薬剤師会 薬価基準検討会	佐村 優	委員	日本薬剤師会
4	(公社)日本薬剤師会 一般用医薬品等委員会	堀川壽代	委員	日本薬剤師会
5	(公社)日本薬剤師会 地域医薬品提供体制検討委員会	小林弘忠	委員	日本薬剤師会
6	(公社)日本薬剤師会 薬局機能検討委員会	佐藤常務理事	委員	日本薬剤師会
7	(公社)日本薬剤師会 薬局製剤・漢方委員会	八木多佳子	委員	日本薬剤師会
8	(公社)日本薬剤師会 薬学教育委員会	片山周也	委員	日本薬剤師会
9	(公社)日本薬剤師会 公衆衛生委員会	田口真穂	委員	日本薬剤師会
10	(公社)日本薬剤師会 倫理審査委員会	竹内専務理事	委員	日本薬剤師会
11	(公社)日本薬剤師会 臨床・疫学研究推進委員会	竹内専務理事	委員	日本薬剤師会
12	(公社)日本薬剤師会 薬局薬剤師部会	林 直子	幹事	日本薬剤師会
13	(公社)日本薬剤師会 行政薬剤師部会	諸角浩利 田中治己	幹事	日本薬剤師会
14	(公社)日本薬剤師会 学校薬剤師部会 広報ワーキンググループ	神原大輔	委員	日本薬剤師会

No	審議会等名	委員等	役職名	関係団体
15	(公社)日本薬剤師会 学校薬剤師部会 学術ワーキンググループ	田口真穂	委員	日本薬剤師会
16	(公社)日本薬剤師会 薬局勤務薬剤師分科会	林 直子	監事	日本薬剤師会
17	(公社)薬剤師認定制度認証機構	小川会長	社員	薬剤師認定 制度認証機 構
18	認定薬剤師認証研修機関協議会 (CAPEP)	久保田常務理事 阿部理事	委員	認定薬剤師 認証研修機 関協議会
19	(一社)薬学教育評価機構評価委員会	久保田常務理事	評価実施員	薬学教育評 価機構
20	(一社)薬学教育協議会関東地区調整機構	久保田常務理事	委員	薬学教育協 議会関東地 区調整機構
21	神奈川県学校保健連合会	小川会長 後藤副会長 伊藤常務理事 佐藤常務理事	副会長 理事 評議員 評議員	県学校保健 連合会
22	神奈川県学校保健連合会学校薬剤師部会	小川会長	部会長	県学校保健 連合会
23	神奈川県学校保健連合会健康手帳改訂委員会	石渡理事	委員	県学校保健 連合会
24	神奈川県立学校保健会	唐澤理事	理事	県立学校保 健会
25	社会保険診療報酬支払基金神奈川支部審査運営協議会	小川会長	参与	診療報酬 支払基金
26	社会保険診療報酬支払基金神奈川支部診療報酬請求書審査委員会	長津副会長 竹内専務理事 夏目理事	審査委員	診療報酬 支払基金
27	神奈川県保険者協議会	長津副会長	委員	国保連合会
28	神奈川県国民健康保険診療報酬審査委員会	佐藤常務理事 阿部理事 泉理事 福嶋理事 瀧本 淳 藤本直樹 依田啓司	審査委員	国保連合 会
29	禁煙・受動喫煙防止活動を推進する神奈川会議	寺師常務理事	副会長	県予防医学 協会
30	神奈川県医師会災害救助対策委員会	寺師常務理事	委員	県医師会
31	神奈川県糖尿病対策推進会議幹事会	唐澤理事	幹事	県医師会

No	審議会等名	委員等	役職名	関係団体
32	在宅医療トレーニングセンター研修事業運営協議会	久保田常務理事	委員	県医師会
33	日本プライマリ・ケア連合学会神奈川支部	寺師常務理事 嶋監事	幹事 幹事	県医師会
34	神奈川県在宅歯科医療連携拠点運営事業推進協議会	山形理事	委員	県歯科医師会
35	糖尿病医科歯科連携協議会	唐澤理事	委員	県歯科医師会
36	神奈川県病院協会新型コロナウイルス対策会議	竹内専務理事	オブザーバー	県病院協会
37	(公財)かながわ健康財団評議員会	小川会長	評議員	かながわ健康財団
38	(公財)かながわ健康財団がん対策推進会議	伊藤常務理事	委員	かながわ健康財団
39	健康チャレンジフェアかながわ実行委員会	平井事務局長	委員	かながわ健康財団
40	がん克服シンポジウム実行委員会	寺師常務理事	委員	かながわ健康財団
41	神奈川県社会福祉協議会第2・3種正会員連絡会	坂本理事	委員	県社会福祉協議会
42	神奈川県立子ども医療センター地域医療支援事業運営委員会	寺師常務理事	委員	県立子ども医療センター
43	神奈川県がん診療連携協議会地域連携クリティカルパス部会	唐澤理事	委員	県立がんセンター
44	神奈川県立保健福祉大学を支援する会	泉理事	理事	県立保健福祉大学
45	神奈川県エイズ治療拠点病院等連絡協議会	寺師常務理事	委員	横浜市大付属病院
46	(一財)北里環境科学センター 評議員会	竹内専務理事	評議員	北里環境科学センター

4 会員の表彰

(1) 薬剤師会関係表彰

① 神奈川県薬剤師会

ア 会長賞 (個人) (2/17)

島田 清文 今井 直 熊井 佳子

イ 会長賞 (団体)

該当なし

ウ 有功賞 (2/17)

相川 慶子 金子 清子 金子 節子 高橋喜久雄 西山世津子
肥田 稔 堀川 澄子 堀越 郁代 矢野 栄子 計9名

② 日本薬剤師会

ア 有功賞 (4/1)

磯部 昌子 市川 洋一 井上 節子 今木 章雄 上野 政子
田辺 滋允 辻 晃 土井 富江 平田 富子 廣井三和子
矢野 和子 横井 法子 吉田紗智子 吉原世右子 計14名

(2) 叙勲・大臣表彰

① 叙勲

ア 旭日双光章 (秋)

信近 理恵

イ 瑞宝双光章 (秋)

星野 英雄

ウ 瑞宝双光章〈高齢者叙勲〉 (4/1)

野田 文子

② 厚生労働大臣表彰

ア 薬事功労 (10/21)

山下 耕司

イ 公衆衛生事業功労 (2/27)

竹内 尚子

③ 文部科学大臣表彰

ア 学校保健及び学校安全表彰 (11/10)

米山 豊平

(3) 神奈川県知事表彰

① 県民功労者表彰 (6/15)

川田 哲

② 国民健康保険事業功労 (11/7)

阿部 正隆

- ③ 保健衛生
 医療関係功労者（11/30）
 久保田充明

(4) その他各種表彰

- ① 神奈川県公衆衛生協会会長表彰（11/21）
 石渡 宏衛
- ② 日本公衆衛生協会会長表彰（2/27）
 伊藤 啓
- ③ 学校保健功労者等表彰
 瀬戸 卓 秋山 直敏 米山 雄次 紺野 美紀 河津ひろみ
 計5名

5 厚生労働省、日本薬剤師会等の会議参加状況

会 議 名	開 催 日	出 席 者
日薬 関東ブロック協議会（第1回）〈千葉〉	令和4年5月22日	小川会長 橋本副会長 竹内専務理事 寺師常務理事
日薬 関東ブロック協議会（第2回）〈神奈川〉	令和5年2月5・6日	小川会長 後藤副会長 橋本副会長 長津副会長 竹内専務理事 伊藤常務理事 寺師常務理事 佐藤常務理事 久保田常務理事 塚本常務理事
日薬 関東・東京ブロック会議〈群馬〉	令和4年11月6日	佐藤常務理事 久保田常務理事 塚本常務理事
日薬 都道府県会長協議会（第1回）	令和4年5月25日	小川会長
日薬 都道府県会長協議会（第2回）	令和4年7月27日	小川会長
日薬 都道府県会長協議会（第3回）	令和4年10月8日	小川会長
日薬 都道府県会長協議会（第4回）	令和5年1月11日	小川会長

会 議 名	開 催 日	出 席 者
日薬 第100回定時総会	令和4年6月25・26日	小川会長 後藤副会長 橋本副会長 竹内専務理事 伊藤常務理事
日薬 第101回臨時総会	令和5年3月11・12日	小川会長 後藤副会長 橋本副会長 竹内専務理事 伊藤常務理事
薬剤師認定制度認証機構 定時社員総会 【web 併用】	令和4年6月24日	小川会長
第28回認定薬剤師認証研修機関協議会 【web 開催】	令和4年6月24日	久保田常務理事 阿部理事
日薬 学校薬剤師部会学校環境衛生検査技術 講習・学術研修会【web 併用】	令和4年8月21日	和田野歩 濱地優作
日薬 「薬局ビジョン実現に向けた薬剤師の かかりつけ機能強化事業【第2期】」におけ る都道府県薬剤師会実施事業(モデル事業)に 係る説明会【web 開催】	令和4年11月1日	塚本常務理事
日薬 「薬局ビジョン実現に向けた薬剤師の かかりつけ機能強化事業【第2期】」におけ る事業1に係る説明会【web 開催】	令和5年1月16日	久保田常務理事 阿部理事
生涯学習担当者全国会議【web 開催】	令和5年1月18日	久保田常務理事 福嶋理事
第29回認定薬剤師認証研修機関協議会 【web 開催】	令和5年1月20日	久保田常務理事 阿部理事 福嶋理事
日薬 学校薬剤師部会東京・関東ブロック連 絡会議【web 開催】	令和5年1月27日	金子理事 和田野歩
関東信越厚生局管内10都県薬剤師会社会保険 担当者連絡協議会【web 開催】	令和5年2月26日	佐藤常務理事 福嶋理事
日薬 セルフケア・セルフメディケーション 推進のための全国担当者会議【web 開催】	令和5年3月1日	塚本常務理事
日薬 学校薬剤師部会全国担当者会議	令和5年3月16日	金子理事
日薬 かかりつけ薬剤師・薬局推進指導者協 議会	令和5年3月17日	夏目理事 福嶋理事
日薬 令和4年度社会保険指導者研修会	令和5年3月20日	小林弘忠

会員の動向

<業種別会員数>

(R5.3.31現在)

区分	薬局				店舗販売業				その他(行政、病院、無職他)					合計					
	I種	II種	賛助	計	I種	II種	賛助	計	I種	II種	III種	賛助	計	I種	II種	III種	賛助	名誉有功	計
R1年度	2,385	1,108	220	3,713	33	14	7	54	1	473	56	38	568	2,419	1,595	56	265	10	4,345
R2年度	2,346	1,022	204	3,572	32	13	6	51	2	454	49	36	541	2,380	1,489	49	246	11	4,175
R3年度	2,317	985	191	3,493	32	15	7	54	1	428	44	31	504	2,350	1,428	44	229	10	4,061
R4年度	2,282	954	175	3,411	30	13	6	49	1	406	39	31	477	2,313	1,373	39	212	11	3,948

[会員種別]

- I 種 : 薬局・店舗販売業・卸売販売業の経営者または薬局・店舗販売業の管理者である薬剤師
- II 種 : 第1種・第3種会員以外の薬剤師
- III 種 : 満77歳以上の無職の薬剤師
- 賛助 : 非薬剤師の薬局・店舗販売業・卸売販売業の経営者、薬品の製造業及び卸売業・医薬品販売業等の関係者、
本会の目的及び事業に賛同する個人及び企業・団体
神奈川県以外に在住する薬剤師

<入会者・退会者数>

区分	入会者						退会者						差引					
	I種	II種	III種	賛助	名誉有功	計	I種	II種	III種	賛助	名誉有功	計	I種	II種	III種	賛助	名誉有功	計
R1年度	211	111	0	12	0	334	276	162	11	39	1	489	▲65	▲51	▲11	▲27	▲1	▲155
R2年度	279	87	0	8	2	376	318	187	16	24	1	546	▲39	▲100	▲16	▲16	1	▲170
R3年度	222	97	0	7	0	326	243	163	9	23	2	440	▲21	▲66	▲9	▲16	▲2	▲114
R4年度	243	86	0	12	1	342	288	128	10	29	0	455	▲45	▲42	▲10	▲17	1	▲113

●県内店舗数と会員店舗数比較

業種	R4.3月		R5.3月		R4.3月	
	県内店舗数	会員店舗数	対県内店舗数加入率	会員店舗数	対県内店舗数加入率	対県内店舗数加入率
薬局	4,093	2,321	56.7%	2,357	57.6%	
店舗販売業	1,547	36	2.3%	39	2.5%	
卸売販売業	562	76	13.5%	79	14.1%	
薬種商販売業	1	0	0.0%	0	0.0%	
特例販売業	0	0	0.0%	0	0.0%	
配置販売業	175	0	0.0%	0	0.0%	
計	6,378	2,433	38.1%	2,475	38.8%	

※県内店舗数は、神奈川県薬務課発行「薬務行政の概要」による。

●県内薬剤師数と会員数比較 (※会員薬剤師数は、賛助会員を除く数)

業種	R2.12月		R5.3月		R4.3月	
	県内薬剤師数	会員薬剤師数	対県内薬剤師数加入率	会員薬剤師数	対県内薬剤師数加入率	対県内薬剤師数加入率
薬局	16,036	3,239	20.2%	3,305	20.6%	
病院・診療所	3,682	82	2.2%	86	2.3%	
介護保険老人施設	92	5	5.4%	5	5.4%	
大学	145	24	16.6%	24	16.6%	
医薬品販売業	2,186	121	5.5%	129	5.9%	
行政	423	38	9.0%	37	8.7%	
その他業務	428	24	5.6%	27	6.3%	
無職・不詳	880	203	23.1%	219	24.9%	
計	23,872	3,736	15.7%	3,832	16.1%	

※県内薬剤師数は、厚労省「医師・歯科医師・薬剤師統計」による。

※会員薬剤師数は、賛助会員を除く数

事業報告

I 公益事業

1 薬学・薬業の進歩発展に関する事業

(1) 神奈川県薬剤師会学術フォーラムの開催（かながわ薬剤師学術大会の開催）

例年開催している「かながわ薬剤師学術大会」は、今年度は神奈川県病院薬剤師会が共催できないため、「神奈川県薬剤師会学術フォーラム」という名称で単独開催した。

フォーラムでは、心不全に関する薬薬連携に係る研修会、研究倫理に関する研修会のほか、特別講演や県民公開講座を開催した。

(神奈川県薬剤師会学術フォーラム)

日時：令和4年8月28日（日）9:00～16:20

会場：web開催

主催：神奈川県薬剤師会

後援：神奈川県、横浜市

参加者：553名（視聴者延べ数）

内容：

○心不全に関する薬薬連携

基調講演

- ・心不全の基本から薬物治療まで

講師 石川範和氏（善行団地石川医院院長）

事例紹介

- ・全ステージ思考での心不全管理と地域連携

講師 土岐真路氏（川崎市立多摩病院薬剤部）

- ・心不全療養指導士を目指すことで変わった自分の服薬指導
～薬薬連携を進めていくための共通言語を考える～

講師 橋本優子氏（藤沢薬剤師会薬局）

パネルディスカッション

座長 金田昌之氏（菊名記念病院薬剤部）

野田和多流氏（トライアドジャパン(株)）

パネリスト 土岐真路氏（川崎市立多摩病院薬剤部）

橋本優子氏（藤沢薬剤師会薬局）

○研究倫理に関する研修会

薬剤師のための研究倫理講座・初級編

講師 上村直樹氏（東京理科大学薬学部嘱託教授）

○特別講演

最近の政治経済情勢について～新型コロナウイルス感染症対策を振り返る～

講師 高橋洋一氏

（数量政策学者、嘉悦大学教授、(株)政策工房代表取締役会長）

○県民公開講座

テーマ：漢方の理解促進に関する研修会 知って得するなるほど！『漢方』

内 容：意外と身近な漢方薬

講師 飯田敏雄氏（医王堂薬局）



神奈川県薬剤師会学術フォーラムチラシデザイン



県民公開講座チラシデザイン

(2) 日本薬剤師会学術大会等への参加・発表

第55回日本薬剤師会学術大会で、公衆衛生・学薬委員会、リスクマネジメント委員会
が発表を行った。

日 時：令和4年10月9日（日）・10日（月・祝）

会 場：仙台国際センター

主 催：日本薬剤師会／宮城県薬剤師会

テーマ：結～地域と共に未来へ

内 容：口頭発表

- ・公衆衛生・学薬委員会

神奈川県立学校における学校環境衛生検査の実施状況報告(令和3年度)

- ・リスクマネジメント委員会

薬局プレアボイドweb報告システムの構築とその有用性について

(3) 薬学研究への助成

薬学の進歩発展に資するため、県内の薬剤師が行っている研究に対し、平成24年度から助成金を交付している。2件の申請があったが、助成を行ったのは次の1件である。

採 択 事 業：臨床研究推進に向けた若手薬剤師の統計学に対する意識改善を目的
とした資料開発

補助金交付額：320,713円

(4) 臨床薬学研究に関する倫理審査

「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(文部科学省・厚生労働省・経済産業省)に基づき、薬剤師が活動する分野の研究について倫理審査を行うことになっており、1件の申請があった。

(5) 薬学生育成に関する事業

① 認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップの開催

実務実習において薬学生への質の高い教育を実践するため、認定実務実習指導薬剤師を養成する薬学教育協議会で承認されたワークショップを、病院・薬局実務実習関東地区調整機構との共催の補助事業として実施した。

ア 第2回認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ

日時：令和4年7月17日(日) 9:00~19:00

7月18日(月・祝) 9:00~18:00

会場：横浜薬科大学

受講者：27名(会員7名/県病薬9名/その他11名)

イ 第7回認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ

日時：令和4年9月18日(日) 9:00~19:00

9月19日(月・祝) 9:00~18:00

会場：神奈川県総合薬事保健センター

受講者：27名(会員11名/県病薬9名/その他7名)

ウ 第8回認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ

日時：令和4年10月9日(日) 9:00~19:00

10月10日(月・祝) 9:00~18:00

会場：昭和薬科大学

受講者：27名(会員15名/県病薬4名/その他8名)

② 認定実務実習指導薬剤師養成講習会の開催

実務実習において薬学生への質の高い教育を実践するため、認定実務実習指導薬剤師を養成する講習会を開催した。

日時：令和4年7月3日(日) 13:30~17:30

会場：昭和薬科大学

受講者：78名(会員28名/県病薬21名/その他29名)

③ 認定実務実習指導薬剤師更新講習会の開催

認定を受けた日から5年以上を経過した者を対象に、認定実務実習指導薬剤師の認定資格更新のための講習会を開催した。

日時：令和5年2月5日(日) 10:00~11:50

会場：神奈川県総合薬事保健センター

受講者：38名(薬局15名/病院23名)

④ 神奈川オリジナルアドバンストワークショップの開催

昨年に引き続き、神奈川県オリジナルのワークショップの開催を予定していたが、テ

ーマ・内容・実施等を再度検討することとなり、今年度の開催は中止とした。

⑤ 手引きを用いた実務実習の進め方の説明会の開催

新規受入れの認定実務実習指導薬剤師や実務実習受入薬局の薬剤師を対象に、改訂モデル・コアカリキュラムに準拠した実務実習の進め方や今後の実習に求められる内容等について説明会を開催した。

日 時：令和5年2月5日（日）13:30～15:00

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

受講者：5名（会員4名/一般1名）

⑥ 神奈川県薬剤師会・神奈川県病院薬剤師会実務実習担当者と大学との懇談会の開催

薬局、病院及び大学の更なる連携強化を図るため、意思の疎通や相互理解を深める情報・意見交換の場として懇談会を開催した。

日 時：令和5年1月31日（火）18:30～20:00

会 場：web 開催

出席者：53名（県薬21名/県病薬4名/大学28名）

⑦ 地域薬剤師会実務実習担当者会議の開催

各地域の実務実習担当者に本会事業並びに日本薬剤師会及び関東地区調整機構からの通知や事業について伝達し、地域の問題点や課題の共有等を行うために担当者会議を開催した。

ア 第1回地域薬剤師会実務実習担当者会議

日 時：令和4年9月5日（月）19:00～19:45

会 場：web 開催

内 容：・実務実習における確認事項について
・意見交換

イ 第2回地域薬剤師会実務実習担当者会議

日 時：令和5年2月9日（木）19:00～20:30

会 場：web 開催

内 容：・実務実習に関する伝達事項
・意見交換（グループディスカッション）

(6) 新しい薬局・薬剤師のあり方についての検討

令和2年度に取りまとめた中間報告を基に、各会員が現状の課題や今後の方向性を考える契機となるような座談会等を行うなど今後の展開について検討を行い、来年度中に事業報告を取りまとめることとした。

日 時：令和4年8月24日（水）19:00～20:00

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

2 児童・生徒等に関する事業

(1) 学校環境衛生管理事業

① 神奈川県立学校の環境衛生検査

県立学校担当学校薬剤師による検査の利便性向上のため、「学校環境衛生基準」に基づき、神奈川県教育委員会から環境衛生検査機器の貸与を受け、次の事業を実施した。

- ・学校環境衛生検査（県立学校全校〈全日制、定時制、通信制、支援学校等〉）
- ・県立学校室内空气中化学物質濃度検査（シックハウス検査 54 校）
- ・県立学校給食調理場定期検査（特別支援学校 28 校）
- ・学校環境衛生検査機器の現物照合、神奈川県教育委員会との打合せ会（8/31）

(2) 薬物乱用防止啓発事業の支援

① 薬物乱用防止啓発教室の開催

神奈川県からの委託事業として、県内の小・中・高校（公・私立）の生徒、教職員及び保護者を対象に、学校薬剤師が講師となり薬物乱用防止啓発教室を実施した。

区分	令和4年度		令和3年度		令和2年度	
	校数	生徒数	校数	生徒数	校数	生徒数
高等学校	15	4,986	9	2,302	9	1,994
一貫校	0	0	4	1,061	0	0
中学校	75	13,248	61	10,612	47	6,941
小学校	195	14,729	137	11,483	112	9,677
P T A 等	2	1,079	0	0	2	136
計	287	34,042	211	25,458	170	18,748

② 中高生向け教材「ダメ。ゼッタイ。」リーフレットの増刷

中高生向けリーフレットを 8,000 部増刷し、薬物乱用防止啓発教室の資材として学校薬剤師へ提供した。

(3) 医薬品適正使用教室の推進

① 啓発資材の購入

「学校環境衛生基準」解説 2022（薬事日報社）を 2 冊購入

(4) 学校保健向上事業

① 公衆衛生研修会（学校環境衛生編）の開催

日 時：令和4年7月3日（日）14:00～15:50

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

受講者：44 名（会員 43 名/一般 1 名）

内 容：学校環境衛生活動の現状と学校薬剤師に期待される役割

講師 北垣邦彦氏（東京薬科大学薬学部社会薬学研究室教授）

② 地域薬剤師会学校薬剤師担当者会議の開催

日 時：令和4年5月29日（日）12:00～13:00

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：・学校環境衛生検査について
・薬物乱用防止啓発事業について
・2022年度全国学校保健調査への協力依頼について
・意見交換

③ 公衆衛生研修会（学校環境衛生検査技術編）の開催

日 時：令和4年7月24日（日）10:00～13:05

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

受講者：32名（会員32名/一般0名）

内 容：・学校環境衛生検査について
講師 濱地優作氏（みねおか調剤薬局）
・（実習）学校環境衛生検査実技
進行 和田野歩氏（坂本薬局妙蓮寺店）

④ 全国学校保健調査の実施

日本薬剤師会が実施している全国学校保健調査を今年度も地域薬剤師会の協力のもと、神奈川県内調査の取りまとめを行った。

なお、本調査結果は、学校環境衛生の維持・管理に資する参考資料として、毎年文部科学省へ日本薬剤師会から報告を行っている。

期 間：令和4年5月～9月

対 象：神奈川県内学校薬剤師

報告数：1,336件

内 容：2021年度の換気、温度、相対湿度、プールの定期検査、換気の日常点検、新型コロナウイルス感染症対策について

3 医薬品適正使用に関する事業

(1) くすりと健康すこやかフェアの開催

県民に対し医薬品の適正使用など健康な社会づくりの普及啓発を図るため、関係団体との共催により、お薬相談や肌年齢測定などの健康度チェック等を実施した。また、本会ブースの一面において、神奈川県栄養士会の協力のもと、栄養相談を実施した。

(2022 くすりと健康すこやかフェア)

日時：令和4年10月20日(木) 10:00～16:00

会場：新都市プラザ(横浜駅東口そごう前広場)

共催：神奈川県薬剤師会、神奈川県病院薬剤師会、
神奈川県製薬協会、神奈川県医薬品配置協会、
横浜市薬剤師会

後援：神奈川県、横浜市健康医療局

内容：パネル展示、お薬相談、

健康測定(肌年齢測定、血圧・動脈硬化・血管年齢測定)、

チラシ・パンフレット配布、医薬品等に関するアンケート、栄養相談

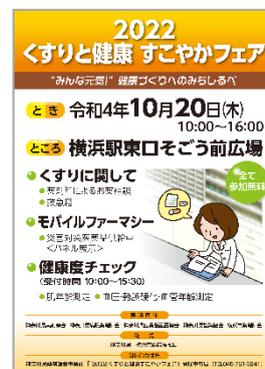
実施：血圧・血管硬化度・血管年齢測定(県薬剤師会) 121人

肌年齢測定(県薬剤師会) 99人

お薬相談(県病院薬剤師会) 38件

栄養相談(県栄養士会) 26件

アンケート回収 313件



ポスター、チラシデザイン

(2) 薬と健康の週間事業の支援

厚生労働省及び都道府県等が推進する「薬と健康の週間」(10月17日～10月23日)において、厚生労働省及び医薬品医療機器総合機構等作製のポスター、チラシ、ハンドブックなどを会員薬局及び各地域薬剤師会へ送付し、かかりつけ薬剤師の普及、医薬品適正使用、セルフメディケーションの推進などの啓発を実施した。

(3) 医薬品適正使用関連事業の推進

(医薬品適正使用検討委員会)

県医師会、県歯科医師会、県病院協会及び県病院薬剤師会との委員会を書面にて開催し、医療・介護保険委員会で調剤報酬改定に基づき見直した「院外処方箋の正しい書きかた」について、協議し啓発を実施した。

日時：令和4年10月24日(月)

会場：書面開催

(4) セルフメディケーションの推進

① 県民向け啓発グッズの作製

県民に対するセルフメディケーションの普及啓発を目的として、くすりと健康相談薬局県下一斉相談週間等のイベントで配布するためのグッズを作製した。

- ・絆創膏 (7,000 個) 《一部改訂》
- ・マスク (8,000 枚) 《増刷》
- ・セルフメディケーションリーフレット (8,000 部) 《増刷》
- ・啓発ポスター秋バージョン (A2判 2,500 枚)
- ・啓発ポスター春バージョン (A2判 2,400 枚)



絆創膏パッケージデザイン



絆創膏デザイン



マスクパッケージデザイン



秋バージョンポスターデザイン



春バージョンポスターデザイン

② 健康測定機器による健康相談の推進

ア 健康測定機器等の貸出し

県民のセルフメディケーション推進のため、新機種4台を加えた健康測定機器等10機種16台を地域薬剤師会及び会員薬局に貸し出した。

なお、本会が認定する「くすりと健康相談薬局」には、優先的に予約受付期間を設けている。

令和4年度貸出区分別実績

区 分	件数
会 員 薬 局	44
地 域 薬 剤 師 会	6
くすりと健康相談薬局	89
計	139

令和4年度貸出機器別実績

機器名	区分	保有台数	貸出台数 (会員及び 地域薬剤師会)	貸出台数 (くすりと 健康相談薬局)	計
脳年齢・血管年齢・健美度チェック器		3	20	36	56
血管年齢計		3	22	22	44
骨健康測定器		1	11	23	34
肺年齢計		2	0	2	2
血圧計		1	1	2	3
環境放射線モニター※		2	0	0	0
③ 新 心と身体のバランス測定器		1	7	8	15
③ 新 肌の年齢測定器		1	7	21	28
③ 新 心血管指標 AVI・API&血圧測定		1	6	15	21
③ 新 認知機能セルフチェッカー		1	10	8	18
計		16	84	137	221

※自然物や人工物から放出される放射線測定器

イ 健康測定機器の実例報告

貸出しを行っている健康測定機器を積極的に活用している薬局の実例を会誌「薬壺」で紹介した。

- ・2022年 7・8月号掲載 わかば調剤薬局（小田原市）
- ・2022年 11・12月号掲載 横浜調剤薬局（横浜市旭区）
- ・2023年 3・4月号掲載 サザン薬局（横須賀市）

③ 薬剤師向けセルフメディケーション啓発研修会の開催

生活者のセルフメディケーションをサポートする能力を向上させ、薬局薬剤師の職能を充実させることを目的として開催した。

ア セルフメディケーション研修会 ～総論編～「くすりと健康相談薬局」相談力向上研修会

日 時：令和4年5月15日（日）14:00～17:30

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

受講者：60名（会員54名/一般6名）

内 容：・オーラルフレイルの基礎知識

講師 加藤尊巳氏（神奈川県歯科医師会常任理事）

- ・オーラルケアに関する対応力向上のための演習

講師 加藤弥恵氏（タカミ歯科歯科衛生士）

イ セルフメディケーション研修会～各論編～

「くすりと健康相談薬局」健康サポート力向上編（薬局製剤編）

日 時：令和4年6月5日（日）12:00～17:20

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

受講者：43名（会員32名/一般11名）

内 容：・明日から始める薬局製剤～Part2～

講師 田中大嗣氏（田中薬局）

鈴木大介氏（シーガル調剤薬局）

- ・セルフメディケーションに直ぐに役立つ薬局製剤を実際に作ろう！

感冒剤・漢方薬、外用薬

講師 田中大嗣氏（田中薬局）

ウ セルフメディケーション研修会～事例編～「くすりと健康相談薬局」取組紹介研修会

日 時：令和4年9月11日（日）14:00～15:45

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

受講者：48名（会員43名/一般5名）

内 容：・測定機器を活かした健康サポートの効用について

- ・(SGD) 相談しやすい環境の整え方、健康相談・薬局利用法について
- ・新規健康測定機器の活用事例報告

講師 藤倉絵美氏（ヒロ薬局）

鈴木大介氏（シーガル調剤薬局）

中村彩乃氏（カワセ薬局）

④ 漢方の理解促進に関する研修会

薬局薬剤師の地域での健康情報拠点としての充実の一環として、漢方薬の理解促進に関する研修会を県民に対して開催した。また、薬剤師に対しても漢方の有効な使い方等の知識を向上させる目的で研修会を開催した。

ア 漢方の理解促進に関する研修会 知って得するなるほど！『漢方』（再掲）

日 時：令和4年8月28日（日）15:15～16:15

会 場：神奈川県総合薬事保健センター（web 併用）

受講者：約135名

内 容：（P14 参照）

イ 漢方の理解促進に関する研修会～薬剤師編～

日 時：令和4年11月20日（日）14:00～15:40

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

受講者：53名（会員50名/一般3名）

内 容：漢方薬をより深く理解し、効果を高めるための方法

講師 杉山卓也氏（漢方のスギヤマ薬局）

⑤ 医薬品登録販売者継続研修（県医薬品登録販売者協会との共催事業）

医薬品医療機器等法に基づき、登録販売者を置く薬局開設者を対象に法定義務研修

である本研修を実施した。

ア 第1回

日 時：令和4年6月9日（木）

会 場：DVD研修

受講者：129名（会員61名/一般68名）

内 容：・水虫（たむしを含む）かも
・法令遵守体制の整備に伴う指針・手順書・社内規定等
・医薬品登録販売者に求められる理念・倫理

イ 第2回

日 時：令和4年9月4日（日）

会 場：DVD研修

受講者：128名（会員59名/一般69名）

内 容：・痛みを主訴としない主に胃の症状
・育児中の心配と家庭薬（子供の夜泣き・かんの虫を中心に）

ウ 第3回

日 時：令和4年11月12日（土）

会 場：DVD研修

受講者：127名（会員58名/一般69名）

内 容：・倦怠感・疲労・栄養不足による諸症状
・全国統一講習会
リスク区分等の変更があった医薬品

エ 第4回

日 時：令和5年2月8日（水）

会 場：DVD研修

受講者：127名（会員58名/一般69名）

内 容：・漢方製剤
・胃痛及び腹痛（便秘を伴わない）

(5) くすりと健康相談薬局の推進

令和4年9月1日付けで新規14件、更新64件（令和元年度認定薬局）、合計78件の薬局を認定し、県内259薬局となった。

申請期間：令和4年5月6日（金）～令和4年5月31日（火）

申請薬局：78薬局

認定薬局：78薬局

認定期間：令和4年9月1日（木）～令和7年8月31日（日）

① 認定証交付式の開催

（令和4年度くすりと健康相談薬局認定証交付式）

日 時：令和4年9月11日（日）13:00～13:30

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

② チラシ、啓発グッズ等の作製・配布

県下一斉相談週間の開催にあたり、次の啓発グッズを作製した。

- ・県民向けチラシ 薬局 PR 用 30,000 枚、制度 PR 用 12,000 枚《改訂》
- ・セルフメディケーションリーフレット 8,000 部《増刷》(再掲)
- ・のぼり (大) 50 個《増刷》
- ・ステッカー 300 枚《増刷》
- ・絆創膏 7,000 個《一部改訂》(再掲)
- ・マスク 8,000 枚《増刷》(再掲)
- ・フラッグ 40 枚《増刷》
- ・ウェットティッシュ 6,000 個《増刷》
- ・エコバック 6,000 個《リニューアル》



新エコバックデザイン

③ 県下一斉相談週間の開催

認定薬局で日々行っている相談業務を改めて県民にアピールするため、「県下一斉相談週間」を実施した。

今回、初めての試みとして、各認定薬局独自のポスティング広告に対し、費用の一部を補助する企画を実施し、22 薬局の参加があった。

日 時：令和 4 年 11 月 7 日 (月) ～13 日 (日)

会 場：各認定薬局

- ・ポスター (A 3 判) の作製： 300 枚
- ・チ ラ シ (A 6 判) の作製： 8,000 枚



ポスター、チラシのデザイン

④ 認定薬局取材記事の会報誌への連載

会誌「薬壺」において認定薬局の取組を紹介するため、認定薬局を取材し、インタビュー記事を掲載した。

- ・第 18 回 オアシス薬局 (鎌倉市：2022 年 5・6 月号)
- ・第 19 回 すみれ薬局 (横浜市港北区：2022 年 9・10 月号)
- ・第 20 回 相薬よこやま薬局 (相模原市：2023 年 1・2 月号)

(6) 薬事情報センターの充実

医薬品の適正使用、薬害の防止等を推進するため、厚生労働省、日本薬剤師会及び製薬メーカー等から医薬品や副作用等の情報収集に努め、会員や医師・県民等からの医薬品、化学物質、医療保障制度等に関する相談への対応や情報提供などの支援を実施した。

令和 4 年度 (4 月～3 月) 相談件数 981 件 (前年度 985 件)

4 医療安全に関する事業

(1) 神奈川県医療安全推進セミナーへの参画

今年度、神奈川県歯科医師会が当番幹事団体となり、神奈川県・神奈川県医師会・神奈川県病院協会・神奈川県看護協会・神奈川県歯科医師会・神奈川県薬剤師会の計6団体が共催で、同セミナーを次のとおり開催した。

日 時：令和4年11月20日（日）10:00～11:40

会 場：神奈川県歯科保健総合センター（web 併用）

受講者：160名（会員5名/他155名）

内 容：診療所や薬局など小規模施設における院内感染予防対策について

～これまでの取組みと新型コロナへの新たな対応：なぜクラスターが発生しないのか？～

講師 片山茂樹氏（昭和大学歯学部客員教授）

(2) 県民生活上の医薬品等使用の安全確保事業

リーフレットの増刷 13,000枚



リーフレットデザイン

(3) 多重受診防止対策及び偽造処方箋対策の推進

① 多重受診に関する情報の周知

多重受診防止対策として、保険者から給付を制限された患者等の情報について、リスクマネージャーを通じて薬局に情報提供することにより再発防止を図った。また、処方箋を偽造して行使した患者情報についても同様に情報提供を行い、再発防止を図った。

・多重受診 31件 ・処方箋偽造 11件

(4) 高度管理医療機器等継続研修会の開催

医療機器の品質管理などのため、医療機器販売業務の営業管理等に係る研修の受講が毎年必須であることから、日本薬剤師会との共催による研修会を次のとおり開催した。

期 間：令和5年度2月2日（木）～2月9日（木）（8日間）

会 場：web 開催（日薬コンテンツを利用してオンデマンド配信）

受講者：877名（会員653名/一般224名）

(5) 薬害関連資料収集検討

薬害の起こらない安全な社会にするために、また、これまでの薬害事例に学ぶことは重要であるとして過去の薬害を振り返るため、薬害関連書籍を11冊購入し、会員サロンに配架した。また、購入書籍について薬壺2023年1・2月号に掲載し、5・6月号に書籍内容の紹介について掲載を予定している。

購入した書籍

書籍名	出版社	著者監修等
『薬害過失と因果関係の法理』	日本評論社	塩野隆史
『構造薬害』(人間選書)	農山漁村文化協会	片平洵彦
『ノーモア薬害—薬害の歴史に学び その根絶を』	桐書房	片平洵彦
『青い鳥はいなかった —薬害をめぐる一人の親のモノローグ』	不二出版	飯田進
『薬害スモン全史(全3巻)』	労働旬報社	スモンの会全国連絡協議会編
『薬害エイズ裁判史(全5巻)』	日本評論社	東京HIV訴訟弁護団編
『知っておきたい薬害の教訓 —再発防止を願う被害者からの声—』	薬事日報社	医薬品医療機器レギュラトリー サイエンス財団
『陣痛促進剤あなたは どうする —お産の前に一番大切なことについて きちんと説明を受けていますか?』	さいろ社	陣痛促進剤による被害を考える会
『サリドマイド』	東京大学出版会	増山元三郎編
『薬 その安全性』	岩波書店	砂原茂一
『図解 薬害・副作用学』(みてわかる薬学)	南山堂	川西正祐、小野秀樹、賀川義之

5 公衆衛生に関する事業

(1) 献血事業への協力、推進

献血事業を推進するため、神奈川県赤十字血液センターに協力し、街頭にてプラカードを使い、献血への協力を呼び掛けて献血の大切さを積極的に周知した。

日 時：令和5年2月26日（日）10:00～16:00

会 場：大船駅東口（芸術館通り）

献血者：62名

(2) 薬物乱用防止の啓発

① 街頭キャンペーン

ア 令和4年度「ダメ。ゼッタイ。」普及運動街頭キャンペーン

※新型コロナウイルス感染症の影響により中止

イ 令和4年度薬物乱用防止「成人の日」街頭キャンペーン

※新型コロナウイルス感染症の影響により中止

② アンチ・ドーピング対策

アンチ・ドーピング活動推進のため、スポーツファーマシスト推進担当者及び地域薬剤師会等への情報提供の一環として、日本薬剤師会発行「薬剤師のためのアンチドーピング・ガイドブック 2022年版」購入の取りまとめを行い、スポーツファーマシストの知識向上を図った。

③ 公衆衛生研修会（薬物乱用防止編）

日 時：令和4年5月29日（日）14:00～16:30

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

受講者：55名（会員53名/一般2名）

内 容：・2021年度神奈川県立学校における環境衛生検査の実施状況報告

講師 濱地優作氏（公衆衛生・学薬委員会委員）

・継続的な薬物乱用防止教育の必要性

講師 鬼頭英明氏（法政大学スポーツ健康学部スポーツ健康学科教授）

④ 危険ドラッグ啓発グッズ作成

県民向けに薬物乱用防止及び薬物の危険性の周知を図るため、啓発資材としてボールペン 5,000 個を作製し、薬と健康の週間事業やくすりと健康すこやかフェア等で配布した。



ボールペンデザイン

⑤ 薬物乱用防止啓発リーフレット 2,000 部《増刷》



薬物乱用防止啓発リーフレットデザイン

(3) 公衆衛生向上事業

① 公衆衛生研修会

患者の健康管理に貢献することを目的として、薬剤師職能の向上を図るとともに、更なる衛生意識を高めるための研修会を開催した。(全3回)

講師：高橋良氏（昭和大学リウマチ膠原病内科）

日時・会場・受講者・内容：

第1回：令和4年8月7日（日）18:00～20:25

web 開催

69名（会員68名/一般1名）

～King of Commonの病態を考える～風邪の診方

第2回：令和4年10月2日（日）14:00～16:25

神奈川県総合薬事保健センター

41名（会員41名/一般0名）

～King of Commonの病態を考える～風邪の診方・続編

第3回：令和5年2月12日（日）14:00～16:25

神奈川県総合薬事保健センター

43名（会員38名/一般5名）

診断推論 「頭痛」～危ない頭痛の見つけ方～

② 栄養研修会

来局者の的確な栄養指導等健康管理に貢献するため、栄養の考え方の基礎知識を習得し、職能の向上を図る栄養研修会を開催した。

日時：令和5年1月22日（日）14:00～16:00

会場：神奈川県総合薬事保健センター

受講者：53名（会員51名/一般2名）

内容：透析患者からの栄養相談への対応について

講師 大崎時糸子氏（望星大根クリニック管理栄養士）

新 ③ 新興感染症対策に関する研修会（薬剤師のための予防接種研修会）

薬剤師によるワクチン接種等の社会的要請に対応するため、日本薬剤師会による「薬剤師のための予防接種研修プログラム」に基づく研修会を次のとおり開催した。

日時：令和5年1月29日（日）9:00～12:55

会場：神奈川県総合薬事保健センター

受講者：54名（会員54名/一般0名）

内容：講義（動画視聴）及び確認テスト

- ・新型コロナウイルス感染症に係るワクチンに関する基礎知識
- ・緊急時対応の基礎
- ・新型コロナウイルス感染症に係るワクチンの接種に必要な解剖学の基礎知識
- ・医療従事者のための新型コロナウイルスワクチンを安全に接種するための注意とポイント

- ・新型コロナワクチンより安全な新しい筋注の方法 2021年3月版
 - ・新型コロナワクチン接種時のアナフィラキシーへの対応【医療者向け】
- 実技研修
講師 神奈川県立保健福祉大学看護学科

(4) かながわ健康財団等事業への参画

① 薬物クリーンかながわ推進会議

ア 令和4年度「ダメ。ゼッタイ。」普及運動街頭キャンペーン（再掲）（P27参照）

※新型コロナウイルス感染症の影響により中止

イ 令和4年度薬物乱用防止「成人の日」街頭キャンペーン（再掲）（P27参照）

※新型コロナウイルス感染症の影響により中止

② かながわ青少年社会環境健全化推進会議

社会環境健全化推進街頭キャンペーンへの参加

日 時：令和5年1月11日（水）14:30～15:45

会 場：横浜駅西口 駅前広場

派遣人数：1名

③ 健康チャレンジフェアかながわ2022

神奈川県内の専門職団体が「健康寿命延伸に向けてセルフケアに基づく健康づくりの実践活動普及」を目的に企画されたイベントに実行委員会構成メンバーとして負担金を拠出した。

日 時：令和5年1月29日（日）14:30～15:45

会 場：クイーンズサークル（横浜市西区）

主 催：かながわ健康財団

6 地域医療に関する事業

(1) 保健、医療、福祉関係者との連携強化による在宅医療・介護の推進

県民の医療や介護の需要がさらに増加することが見込まれるため、地域における医療・介護の関係機関と連携して、次の事業を実施した。

① 薬剤師向け支援事業

在宅医療研修会の開催

日 時：令和4年12月4日（日）13:00～16:30

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

受講者：36名（会員34名/一般2名）

内 容：・日本人の「TOTAL PAIN」～最近の事情～

講師 引野幸司氏（クローバーホスピタル医局長）

・（SGD）看取り症例についての事例検討

② 在宅医療・介護連携を行う多職種機関への支援事業

在宅医療支援薬局リストの作成

作 成 数：2,800冊

登録薬局数：923薬局（令和4年7月現在の申請薬局）

配 布 先：在宅療養支援診療所、訪問看護ステーション等

③ 認知症対応力向上研修会の開催

日 時：令和4年9月25日（日）13:00～17:00

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

受講者：48名（会員36名/一般12名）

内 容：・神奈川県の施策

講師 宮崎晃子氏（神奈川県福祉子どもみらい局福祉部高齢福祉課技幹）

・認知症のある人への理解と援助

講師 大石智氏（北里大学病院相模原市認知症疾患医療センター長）

・薬局業務における実践編

講師 柳田誠氏（かながわオレンジ大使）

佐藤克哉氏（オレンジ薬局鹿沼台店）

④ お薬に関する出前講座への講師派遣

募集なし

⑤ 神奈川県介護支援専門員（ケアマネジャー）実務研修への協力

神奈川県が主催する神奈川県介護支援専門員研修において、本会から推薦された医療・介護保険委員会委員が専門研修課程の一部を担当し、介護支援専門員の育成に協力した。

〈派遣先機関及び回数〉

・介護の未来 5回（6月15日～28日、6月21日～8月8日、9月2日～9月15日、2月3日～3月7日、2月7日～2月20日、）

・神奈川県社会福祉協議会 2回（6月22日、12月15日）



在宅医療支援薬局リストデザイン

- ・(合同開催)神奈川県社会福祉協議会、横浜市社会福祉協議会、川崎市社会福祉協議会
1回(9月8日～9月21日)
- ・(合同開催)神奈川県社会福祉協議会、横浜市社会福祉協議会 1回(2月1日～
3週間)



⑥ かかりつけ機能向上研修会の開催

妊産婦等における適切な服薬管理や女性の健康を支援できるよう、医薬品等に係る相談体制を充実させ、医薬品等の適正使用を推進するための取組として、「かかりつけ機能向上研修会」を開催した。

後日、テーマに関連する啓発グッズ(DVD、ポスター、チラシ)を受講者宛に送付した。

日 時：令和4年12月14日(水)19:00～20:40

会 場：web開催

受講者：112名(会員110名/一般2名)

内 容：・かかりつけ機能の向上について

講師 長津雅則氏(シーガル調剤薬局)

・成育医療の現状と課題

～プレコンセプションケアと妊産婦等に対する薬学的ケア～

講師 川名三知代氏(ココカラファイン薬局砧店)

(2) 薬・薬連携の強化と相互の資質向上

① 神奈川県病院薬剤師会との合同研修会の開催

ア 薬薬連携推進のための病院薬剤師会と薬剤師会との合同セミナー

※かながわ薬剤師学術大会の開催がないため中止

イ 褥瘡治療薬サミット in かながわ2022の開催

日 時：令和4年10月16日(日)13:00～17:20

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

受講者：29名(会員22名/一般7名)

内 容：・褥瘡の外用薬治療「骨太改革2022で明確にされた褥瘡における
る薬剤師の役割」

講師 古田勝経氏(愛生館小林記念病院褥瘡ケアセンター長・
国立長寿医療研究センター特任研究員)

・褥瘡対策の施設基準に薬剤師が明記された意味と今後の取組

講師 飯田純一氏(済生会横浜市南部病院入退院支援センター)

・実習

ウ 心不全に関する薬薬連携(再掲)

日 時：令和4年8月28日(日)9:05～10:40

会 場：web開催

受講者：146名(会員143名/一般3名)

内 容：(P13参照)

② 入退院時の薬局と病院薬剤部の連携に関する調査事業

入退院時に薬局と病院薬剤部で使用する連携ツールの作成について、神奈川県病院薬剤師会業務検討委員会と合同で次年度に調査等の対応を検討することとした。

(3) 後発医薬品の使用促進

① 県民向け使用促進

昨今の後発医薬品の確保が難しい状況を考慮し、後発医薬品啓発リーフレットの作成を見送ることとした。

(4) 医薬分業の質的向上

① 保険研修会の開催

ア 保険薬剤師のための保険研修会（基礎編）

日 時：令和4年7月10日（日）11:30～13:00

会 場：web 開催

受講者：116名（会員88名/一般28名）

内 容：適切な調剤業務・保険請求を行うために

講師 露木聡史氏（藤沢薬剤師会薬局）

イ 保険薬剤師のための保険研修会（実践編）

日 時：令和4年7月10日（日）14:00～17:00

会 場：web 開催

受講者：80名（会員60名/一般20名）

内 容：・薬歴の書きかたの要点について

講師 今井良紀氏（星が丘西薬局）

・(SGD) 服薬指導の実践及び薬剤服用歴管理指導簿の作成

進行 河野一規氏（田辺薬局下末吉店）

② 保険調剤の正しい理解のための研修会の開催

日 時：令和4年9月4日（日）13:00～14:40

会 場：web 開催

受講者：74名（会員71名/一般3名）

内 容：・保険調剤に関する喫緊の課題について

講師 露木聡史氏（藤沢薬剤師会薬局）

・調剤審査における指摘事項について

講師 藤本直樹氏（神奈川県国民健康保険診療報酬審査委員会委員）

・法的根拠から考える「薬局がしなくてはならない事・してはならない事」

講師 林成昭氏（あおぞら薬局）

③ 薬学管理料の効果調査

在宅医療に係る多岐に渡るサービスの実態を調査し薬学管理料の効果等を検証するため調査方法等を検討し、令和5年度に調査を実施することとした。

④ 保険薬局ハンドブックの作成

令和4年度調剤報酬の改定に伴い、保険薬局ハンドブックの改訂を行い、会員薬局宛て配付するとともに希望者に有償販売を行った。

- ・保険薬局ハンドブック 2,750冊



2022 保険薬局ハンドブック
表紙デザイン

⑤ 保険指導薬剤師打合せ会の開催

調剤報酬に関する情報を収集・共有し会員薬局に提供することで適切な保険請求を実施することを目的に保険指導薬剤師による打合せ会を開催した。

日 時：令和4年9月1日（木）18:30～20:00

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：個別指導の事例研究

⑥ 社会保険指導担当者会議の開催

保険調剤の算定要件を理解し適切な保険請求の実施並びに理解に資するために、地域薬剤師会の社会保険担当者を対象に伝達講習を開催した。

日 時：令和5年3月18日（土）16:00～17:40

会 場：web開催

内 容：・保険調剤に関する喫緊の課題について

講師 野田和多流氏（医療・介護保険委員会）

・調剤審査における指摘事項について

講師 藤本直樹氏（神奈川県国民健康保険診療報酬審査委員会委員）

・法的根拠から考える『薬局がしなくてはならない事・してはならない事』

講師 小林弘忠氏（医療・介護保険委員会）

⑦ 診療報酬の適正な保険事務の推進（隔年実施）

会員からの診療報酬改定に関する疑問を解消し、併せて『保険薬局ハンドブック』『院外処方箋の正しい書きかた』の編集に活かすことを目的に、ホームページで質問を受け付け、医療・介護保険委員会が中心となり回答した。

実施期間：令和4年4月1日（金）～4月15日（金）

問合せ件数：22件

⑧ 薬剤交付支援事業

厚生労働省通知「新型コロナウイルス感染症の拡大に際しての電話や情報通信機器を用いた診療等の時限的・特例的な取扱いについて」等に基づき、新型コロナウイルス感染症のさらなる拡大防止や患者・医療従事者の感染リスクを避けることを目的に、電話や情報通信機器による服薬指導を実施した後に自宅療養等の患者宅等に薬剤を配送する場合の配送料の支援を令和2年度、令和3年度に引き続き実施した。

実施期間：令和4年3月1日（火）～7月31日（日）

申請薬局数：483 薬局

申請金額：8,706,264 円

 ⑨ 薬剤師資格証（HPKI）の交付事業

令和5年4月からオンライン資格確認等のシステムの導入が原則義務化されることに伴い、電子処方箋の運用に必要な薬剤師資格証（HPKI）の交付を日本薬剤師会と連携して行った。

令和4年度交付数：261 件

(5) 外国籍県民に対する保健・医療・福祉の支援

外国籍県民や来県外国人が安心・安全に医薬品を適正使用するための支援を本会ホームページに継続して掲載した。

- ・「外国籍県民のための服薬情報提供文書」及び「外国籍県民向け一般用医薬品販売対応マニュアル」
- ・「多言語音声翻訳アプリ（VoiceTra）」及び「多言語医療問診票」

(6) 地域・職域薬剤師会との連携・支援の充実

地域薬剤師会及び職域薬剤師会が行う公益目的事業に対し、経費の一部を補助する公益目的事業補助金を交付するとともに、先導的事业に対して先導的事业委託金を交付した。

公益目的事業補助金：17 地域・職域薬剤師会 交付額 20,194,000 円

※令和5年8月より緑区薬剤師会の補助金は横浜市薬剤師会に統合

先導的事业委託金：1 地域薬剤師会 交付額 537,000 円

(7) 健康サポート薬局関連事業の推進

「医薬品医療機器等法施行規則の一部を改正する省令」及び健康サポート薬局の基準告示（平成28年2月 厚生労働省）に基づき、日本薬剤師会との連携のもと、研修事業を実施した。

- ・神奈川県内健康サポート薬局登録数：189 薬局（令和4年9月30日現在）

① 健康サポートのための多職種連携研修（技能習得型研修・研修会A）

日時：令和4年7月31日（日）9:00～13:30

会場：神奈川県総合薬事保健センター

受講者：18名（会員13名/一般5名）

- 内 容：・健康サポート薬局の基本理念《DVD》
- ・健康サポート薬局の理念 ～地域包括ケアに対応した薬局・薬剤師
 - ・神奈川県における健康課題と健康増進施策、健康サポート薬局への期待
 - ・多職種や保険者など神奈川県内における取組事例
 - ・神奈川県の医療・保健・健康・介護・福祉等の資源 他
- ② 健康サポートのための薬剤師の対応研修（技能習得型研修・研修会B）
- ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止
- ③ 健康サポートのための多職種連携研修（技能習得型研修・研修会A）
- 日 時：令和4年12月18日（日）9:00～13:30
- 会 場：神奈川県総合薬事保健センター
- 受講者：73名（会員53名/一般20名）
- 内 容：・健康サポート薬局の基本理念《DVD》
- ・健康サポート薬局の理念 ～地域包括ケアに対応した薬局・薬剤師
 - ・神奈川県における健康課題と健康増進施策、健康サポート薬局への期待
 - ・多職種や保険者など神奈川県内における取組事例
 - ・神奈川県の医療・保健・健康・介護・福祉等の資源 他
- ④ 健康サポートのための薬剤師の対応研修（技能習得型研修・研修会B）
- 日 時：令和4年12月18日（日）14:00～19:00
- 会 場：神奈川県総合薬事保健センター
- 受講者：52名（会員29名/一般23名）
- 内 容：・健康サポート薬局の理念 ～健康情報拠点としての覚悟～
- ・一般用医薬品等を取り巻く現状
 - ・薬局利用者の状態把握と販売時と販売後の対応（演習）ほか

（8）その他

① 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症の拡大を防止し、地域で求められる医療を提供するために様々な取組が進められており、本会として、国や県の取組に積極的に協力するとともに、薬局・薬剤師等に必要な情報の提供や問い合わせへの対応等に努めた。

ア 神奈川県への協力・調整及び地域薬剤師会等との調整

- ・経口抗ウイルス薬（ラゲブリオ[®]カプセル、パキロビッド[®]パック、ゾコーバ[®]錠）の配分等について、登録に係る周知・協力依頼、供給の役割を担う薬局の選定に係る調整等
- ・ゴールデンウィーク、年末年始の医療提供体制の確保に係る周知・協力依頼
- ・PCR等検査無料化事業対応薬局への周知
- ・抗原検査キット販売薬局検索システムへの登録の周知

イ 厚生労働省への協力

- ・厚生労働省委託事業「自宅療養等の患者に対する薬剤交付支援事業」の実施（再掲）

（P34参照）

- ・新型コロナウイルス抗原検査キットの取扱薬局・店舗マップ・リストのとりまとめ
- ウ 神奈川県医師会への協力
- ・かながわコロナオンライン診療センター（川崎）に対応する薬局リストのとりまとめ
- エ その他
- ・抗原定性検査キット無償配布事業に係る県への要望書の提出
 - ・県独自の薬剤交付支援事業策定に係る県への要望書の提出

7 災害時医療救護活動に関する事業

(1) 災害時優先携帯電話を使用した訓練の実施

各地域薬剤師会が所持する災害時優先携帯電話について、下記期間に発信を中心とした通信訓練を実施した。

(災害時優先携帯電話通信訓練)

- ・第1回：令和4年7月11日(月)～7月15日(金)
- ・第2回：令和5年1月16日(月)～1月20日(金)

(2) 災害用備蓄品の整備

災害時における災害対策活動を迅速かつ円滑に実施するため、必要な資機材・生活必需品等を会館内に適正配置するよう、定期的な確認と格納場所の配置転換を行った。また、災害対策用備蓄品について、消費期限の到来する備蓄品の入替えと必要品の追加購入を行った。

<災害用備蓄品整備一覧表>

NO	種別	内容等()内は数量
1	飲料水	ミネラルウォーター500ml (600)
2	食品	レトルト白米(70)、五目御飯類(650)、缶詰め類(168) 缶入りベーカリーパン(72)
3	厨具用品類	カセットガスコンロ(2)、カセットガスボンベ(750) 鍋(2)、柄杓(2)、やかん(2)、スチロール食器(200) 割箸(300) スプーン(300) 発熱剤(200)
4	生活用品類	生理用品(858)、紙パンツ(102)、非常用トイレ(500)、 トイレトペーパー(60) ウェットティッシュ(60)
5	寝具類	毛布(110)、折り畳み式ベッド(23)、寝袋(20)
6	防寒用品類	保温アルミシート(100)、使い捨てカイロ(300) カセットガストーブ(4)
7	電灯・ラジオ等	手回し充電懐中電灯(49) 乾電池式懐中電灯(2) ペンライト(30) スタンドライト(2) クリップライト(3) ラジオ(乾電池手回し充電併用) (1) ハンドスピーカー(1)
8	医療用品類	救急キット(43)、サージカルマスク(6,000)、 ディスポーザブル手袋(9,500)、担架(1)
9	機材・工具等	簡易カセットガス発電機(3)、揚水用手動ポンプ(1)、工具セット(1) 軍手(144) 吸水性土嚢(50)、ソーラー発電機一式(1) カッター(4) ドラム式延長コード(3) ホワイトボードマーカー用透明シート(20) 防災ヘルメット(30)

(令和5年3月31日現在)

(3) 災害時対応の整備

大規模災害発生時における神奈川県薬剤師会（神奈川県総合薬事保健センター）での初動対応に関する「災害（震災）時の対応に関する手引き」と「アクションカード」等の災害時対応セットを整備し、これをもとにアクションカード使用訓練を実施した。平日就業時間内での大規模災害を想定し、組織会員委員会委員の指導の下、事務局職員の初動対応について確認した。

また、夜間・休日の災害発生時に神奈川県総合薬事保健センター（以下、会館）利用者がスムーズに対応できるよう、会館利用者に向けた災害時の対応方法を記した案内を作成し、利用前に案内する体制を整備した。

なお、「災害（震災）時の対応に関する手引き」とアクションカードについては、使用訓練後、入居団体にも災害時に同様の対応ができるよう、会館のフロアごとのアクションカード（案）を作成した。

(アクションカード使用訓練)

日 時：令和4年7月11日（月）15：15～16：15

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

参加者：組織会員委員会8名 事務局12名



災害時対応セット

II 法人事業

1 法人組織運営に関すること

(1) 総会、理事会等開催など

- ① 総会、理事会、常務理事会、正副会長会、地域・職域薬剤師会会長協議会、各種委員会委員長会議、監査会など諸会議を開催した。
- ② 春秋会を4月14日（木）に開催し、名誉会員、有功会員、相談役との意見交換や墓参会、懇親会を実施した。
- ③ 受賞者祝賀会
日 時：令和5年2月17日（金）12:00～13:30
会 場：ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル
出席者：34名（内受賞者11名）
- ④ 賀詞交換会
日 時：令和5年1月13日（金）15:00～16:30
会 場：ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル
出席者：87名
- ⑤ 日薬・県薬委員等との意見交換会
日 時：令和5年3月23日（木）18:00～20:30
会 場：横浜ベイホテル東急
出席者：57名
- ⑥ 神奈川県三師会役員連絡協議会
※新型コロナウイルス感染症の影響により中止

(2) 組織強化と財務の健全化

- ① 公益法人制度への対応
公益社団法人としての定期提出書類「令和3年度事業報告」「令和5年度事業計画」等を神奈川県公益法人認定委員会へ提出し、受理された。
- ② 日本薬剤師会会費の徴収を行うための事業連携協力に関する覚書を締結した。
- ③ 令和5年度公益法人運営特別会費及び保険薬局分担金ランクの申告調査を実施した。
会員薬局2,295店舗、非会員薬局204店舗（依頼1,535件1,752店舗）
- ④ 保険薬局分担金を納入いただいた保険薬局103店舗に謝礼として薬壺1年分を送付するとともに、入会促進を行った。

(3) 会員管理

- ① 県薬会費、公益法人運営特別会費及び日薬会費の請求書を送付した。
 - ・口座振替1回（6月）
 - ・コンビニ収納等による会費等の請求（8月、10月、3月）
- ② 入会申請に係る入会審査を51回実施し、328名を承認した。
- ③ 会員規程で定めた手続きにより、会員の登録を行った。
- ④ 日本薬剤師会へ会員の異動データを作成し、報告した。

- ⑤ 会誌「薬壺」神奈川県薬剤師会入会者紹介ページに、本人の承諾が得られた新規入会会員の氏名、所属、所属所在地を掲載した。
- ⑥ 薬局医薬品製造業許可者を対象に副作用抛出金・安全対策等抛出金の申告及び納入業務を行った。195件（令和4年6月～9月）
- 新** ⑦ 神奈川県薬剤師会会員増強対策として、令和3年度保険薬局分担金の納入があった保険薬局98店舗に令和3年度事業報告書と2022保険薬局ハンドブックを送付し、謝礼とともに本会の事業案内を行い、入会促進を図った。
- 新** ⑧ 組織会員委員会にて令和3年度から検討している薬学生を対象とした入会促進企画案について、令和5年度からトライアルを実施することが決定し、関東圏内の薬学部4年生～卒後3年の薬剤師を対象とした「神奈川県薬剤師会ルーキー会員（仮称）トライアルメンバー」の募集を行った。（令和5年3月31日時点 13名応募）



トライアルメンバー募集案内チラシデザイン

- 新** ⑨ 神奈川県薬剤師会への入会促進案及び本会会員への支援案等を検討するため、会員の声を収集すべく「神奈川県薬剤師会に関するアンケート」を実施し、アンケート結果を基に組織会員委員会で会員への支援策の検討を行った。

アンケート結果から、神奈川県薬剤師会の会員メリットが認知されていないことが判明したため、会員特典を打ち出した入会案内チラシを作製した。

また、特典内容の詳細を会員へわかりやすく案内するため、令和5年度にホームページの入会案内コーナーの改良をすべく対応を進めた。

さらに、薬剤師資格証交付時に入会案内チラシを含む入会案内セットを非会員へ配付し、入会促進を行った。

- ⑩ 薬壺1・2月号にメールアドレス登録について案内を同封し、会員のメールマガジン登録促進を行った。
- ⑪ 会費未納者及び行方不明者について、規程に沿って会員資格喪失の処理を行った。



入会案内チラシデザイン

Ⅲ 共益事業

(1) 薬剤師の生涯学習の推進

① 生涯研修プロバイダー（認定薬剤師研修制度）の運営

本会では、平成 23 年度から独自の生涯学習認定制度を運営していたが、平成 29 年 3 月に公益社団法人薬剤師認定制度認証機構の認証を取得し、生涯研修プロバイダーとして、事業を実施している。

ア 認証の情報

認 証 番 号 G21

初回認証期日 平成 29 年 3 月 10 日

更 新 期 日 令和 2 年 3 月 6 日（1 回目）

有 効 期 限 令和 8 年 3 月 9 日

イ 認定者の状況

令和 4 年度認定者数 30 名(新規 12 名／更新 18 名)

通算認定者数 51 名

ウ 研修事業調整会議

各委員会の研修担当者を対象に、研修会の開催推進及び内容の充実を図るための情報交換を主とした会議を開催していたが、今期は地域薬剤師会の研修担当者を対象に共催研修会（D 連携型）の説明及び情報交換と主とした会議を開催した。

（第 1 回研修実務担当者会議）

日 時：令和 4 年 5 月 27 日（金）18:30～19:30

会 場：web 開催

（第 2 回研修実務担当者会議）

日 時：令和 5 年 2 月 24 日（金）18:30～19:30

会 場：web 開催

② 生涯学習認定制度の普及促進

ア 各研修会で認定制度の周知等を実施した。

- ・研修会場での生涯学習認定制度の説明
- ・オンライン研修にて認定制度の紹介動画の配信
- ・申請手順書の配付

イ 会誌「薬壺」に情報を掲載するとともに、認定薬剤師の生の声を届けるべく連載企画「認定薬剤師・この人に聞く」を開始し、認定制度の啓発を行った。

ウ 本会ホームページに認定制度に関する情報を掲載した。

エ 認定薬剤師認証研修機関協議会の運営するサイト「認定薬剤師.com」に情報を掲載した。

オ 令和 2 年度に策定した「新型コロナウイルス感染症に配慮した研修会等の開催指針」を一部改正した。

- ・集合研修会における感染防止策の再検討
- ・ハイブリッド研修会開催に向けた内容の検討

② カ 連携研修事業では、実施団体と企業等が計画・実施する共催研修会（D連携型）について、地域の研修実務担当者向けの説明会及び情報交換会を開催した。

（第1回研修実務担当者会議）（再掲）（P41 参照）

日 時：令和4年5月27日（金）18:30～19:30

会 場：web 開催

③ 学習環境の整備

日本薬剤師会が作成した「薬剤師に求められるプロフェッショナルスタンダード」に基づき各種研修などを企画、開催した。

ア 認定研修会の開催

「令和4年度認定研修会 受講者数一覧」別表1（P47～）参照

	A 認定型※1	B 依頼型※2	C 提案型※3	D 連携型※4	計
集 合	16	2	0	0	18
web	8	2	13	10	33
ハイブリッド	0	0	0	1	1
計	24	4	13	11	52

会 員	2,165
一 般	757
計	2,922

※1 「A認定型」 本会各委員会が企画・運営する研修

※2 「B依頼型」 本会各委員会が企画し、地域薬剤師会などと共催する研修

※3 「C提案型」 地域薬剤師会などが提案する共催研修

※4 「D連携型」 実施団体と企業等が計画・実施する共催研修会

イ 受講単位（研修シール）の発行方法

研修事業の現状と課題を統一した指標で評価し、事業内容の更なる充実を図るため、研修会終了後に共通アンケートを実施し受講単位（研修シール）を発行している。コロナ禍の影響を受け、web上で共通アンケートを実施していたが、集合研修の現地会場で共通アンケート回答を登録し、その内容を確認することで受講単位（研修シール）の現地配付を再開した。

また、将来のシステム化を見据え、従来のシール形式の発行方法を見直し、複写防止の用紙での受講証明書の発行に変更すべく規定等を見直しを行った。

ウ 共催研修事業（C提案型）の視察

（第1回鶴見区・神奈川区薬剤師合同研究会（鶴見区））

日 時：令和4年4月25日（月）

（第2回鶴見区・神奈川区薬剤師合同研究会（鶴見区））

日 時：令和4年6月5日（日）

（薬剤師向け在住外国人対応のための「やさしい日本語」研修（かながわ国際交流

財団))

日 時：令和4年10月23日(日)

(第12回TYP-Net(鶴見若手薬剤師勉強会)研修会(鶴見区))

日 時：令和4年10月25日(火)

(アンガーマネジメント研修会(臨床編)(港南区))

日 時：令和4年11月13日(日)

(鎌倉市薬事講習会・県下統一調剤事故防止研修会(鎌倉))

日 時：令和4年11月17日(木)

(県下統一調剤事故防止研修会(海老名))

日 時：令和4年11月17日(木)

(第13回TYP-Net(鶴見若手薬剤師勉強会)研修会(鶴見区))

日 時：令和4年11月18日(金)

(鶴見薬剤師会令和4年度県下統一調剤事故防止研修会(鶴見区))

日 時：令和4年11月26日(土)

(第7回神奈川吸入療法ステップアップセミナー(初級編)(吸入療法ステップアップをめざす会))

日 時：令和4年12月3日(土)

(調剤事故防止及び医療保険研修会(相模原))

日 時：令和4年12月8日(木)

(第8回神奈川吸入療法ステップアップセミナー(中級編)(吸入療法ステップアップをめざす会))

日 時：令和5年2月4日(土)

(第5回鶴見区・神奈川区薬剤師合同研究会(鶴見区))

日 時：令和5年2月12日(日)

④ 関係機関との連携

ア 薬剤師認定制度認証機構(CPC)

(定時社員総会)

日 時：令和4年6月24日(金)

会 場：web開催

出席者：小川会長

イ 認定薬剤師認証研修機関協議会(CAPEP)

(第28回認定薬剤師認証研修機関協議会)

日 時：令和4年6月24日(金)

会 場：web開催

幹 事：日本くすりと糖尿病学会(P06)

(第29回認定薬剤師認証研修機関協議会)

日 時：令和5年1月20日(金)14:00~17:00

会 場：web開催

幹 事：東邦大学薬学部(G02)

⑤ 学習活動への支援

ア 本会企画研修会

(薬剤師倫理研修会)

日 時：令和4年6月12日(日) 13:30～16:45

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

受講者：31名(会員29名/一般2名)

内 容：・薬史学から薬剤師に必要な倫理を学ぶ

講師 天野宏氏(薬学博士・日本薬史学会評議委員)

・(SGD) ケーススタディー

(薬剤師倫理研修会)

日 時：令和4年8月21日(日) 13:30～16:45

会 場：web開催

受講者：42名(会員41名/一般1名)

内 容：・薬史学から薬剤師に必要な倫理を学ぶ

講師 高橋洋一氏(横浜薬科大学客員教授)

・(SGD) ケーススタディー

(薬剤師倫理研修会)

日 時：令和4年11月6日(日) 13:30～16:45

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

受講者：28名(会員28名/一般0名)

内 容：・薬剤師に必要な倫理を学ぶ—for the person × for the community—

講師 鈴木順子氏(北里大学名誉教授)

・(SGD) ケーススタディー

(研究倫理研修会)

日 時：令和5年2月2日(木) 19:00～20:45

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

受講者：35名(会員33名/一般2名)

内 容：薬剤師に求められる研究倫理を学ぶ ～2022年の改正を踏まえて～

講師 飯嶋久志氏(千葉県薬剤師会薬事情報センター長)

(研究倫理に関する研修会)(再掲)

日 時：令和4年8月28日(日) 11:10～12:40

会 場：web開催

受講者：133名(会員130名/一般3名)

内 容：(P13を参照)

(薬局開設者・管理者等が受けるべき研修会～倫理研修～)

日 時：令和4年12月10日(土) 15:00～18:15

会 場：web開催

受講者：97名(会員95名/一般2名)

内 容：

○薬局開設者・管理者等が遵守すべき法令について

- ・薬学管理を充実するために（個別指導において保険薬局に改善を求めた主な指導事項等）

講師 依田啓司氏（関東信越厚生局神奈川事務所）

- ・問題のある保険請求について

講師 阿部正隆氏（国民健康保険診療報酬審査委員会委員）

○薬害から考える薬局・薬剤師の必要とされる倫理観

- ・副作用被害救済制度の周知、申請支援は薬剤師の倫理の問題

講師 栗原敦氏（全国薬害被害者団体連絡協議会）

- ・歴史から学ぶ薬害と倫理

講師 天野宏氏（薬学博士・日本薬史学会評議員）

- ・不都合な真実

講師 吉川武寿氏（シーサイド薬局 HATORI 店）

⑥ 生涯学習認定制度事業運営・管理

生涯学習認定制度の運営体制（研修カリキュラムへの対応等）を維持・支援するために、必要な企画・運営調整スキル向上を目的とした研修会等へ生涯学習委員会委員が参加することとしていたが、今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により参加を見送るとともに、新型コロナウイルス感染症が収束するまで当面本事業を休止することとした。

⑦ 講師派遣事業等

県内外の患者や生活者が満足する質の高いサービスを提供できる人材を育成することを目的として、神奈川県内の地域・職域薬剤師会等が実施する研修に講師を派遣するなど支援している。

今年度はEBM研修会（基礎編・応用編）について、本会が派遣講師を選定し地域薬剤師会との共催研修会を企画した。

ア EBM研修会（基礎編）

日 時：令和4年10月23日（日）13:00～16:30

会 場：web 開催

受講者：29名（会員22名/一般7名）

共 催：伊勢原市薬剤師会、平塚中郡薬剤師会、秦野市薬剤師会

内 容：EBMの基礎を知って薬剤師の質を上げよう。－製薬会社の医療用医薬品情報概要（製品説明パンフレット）の見方・使い方－

講師 南郷栄秀氏（聖母病院総合診療科）

五十嵐俊氏（横浜市立市民病院感染管理室）

イ EBM研修会（応用編）

日 時：令和4年11月27日（日）13:00～16:30

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

受講者：23名（会員11名/一般12名）

共 催：川崎市薬剤師会、相模原市薬剤師会

内 容：EBMの本質を知る。－医療論文を批判的に吟味する－

講師 南郷栄秀氏（聖母病院総合診療科）

五十嵐俊氏（横浜市立市民病院感染管理室）

⑧ 啓発資材等の作製

神奈川県薬剤師会生涯学習認定制度における認定薬剤師を取得者の認定取得のコツや本認定制度への思いを広報誌「薬壺」にて紹介することにより、認定制度の啓発を行った。また、認定薬剤師の証である認定バッジを 100 個増産し、更新 2 回目の認定薬剤師用新バッジの制作を企画した。

新

⑨ 生涯学習認定制度受講管理業務

受講管理等を簡便化するための管理システム導入については、他の生涯研修プロバイダーとの相互のりかえ等を含め更なる検討が必要と考え、今年度の導入を見送ることとした。

⑩ 学習用 DVD 作製

薬剤師にとって不可欠な倫理観を学ぶ機会を増やすため、薬史学から倫理観を学べる内容で作成した。

作成数 50 枚

配布数 36 枚（地域・職域会長協議会等で配付）

令和4年度認定研修会 受講者数一覧

別表1

No.	研修名	日程	曜日	時間	会場	共催	受講者数		
							総数	会員	一般
1	第1回鶴見区・神奈川区薬剤師合同研究会	4月25日	月	19:30～ 21:00	web開催	鶴見薬 剤師会	41	31	10
2	セルフメディケーション研修会～総論編～「くすりと健康相談薬局」相談力向上研修会	5月15日	日	14:00～ 17:30	神奈川県 総合薬事 保健セン ター		60	54	6
3	公衆衛生研修会（薬物乱用防止編）	5月29日	日	14:00～ 16:30	神奈川県 総合薬事 保健セン ター		55	53	2
4	セルフメディケーション研修会～各論編～「くすりと健康相談薬局」健康サポート力向上編（薬局製剤編）	6月5日	日	12:00～ 17:20	神奈川県 総合薬事 保健セン ター		43	32	11
5	第2回鶴見区・神奈川区薬剤師合同研究会	6月5日	日	13:00～ 14:30	web開催	鶴見薬 剤師会	40	31	9
6	第2回港南区研修会	6月9日	木	19:15～ 21:00	web開催	港南区 薬剤師 会	51	12	39
7	薬剤師倫理研修会	6月12日	日	13:30～ 16:45	神奈川県 総合薬事 保健セン ター		31	29	2
8	公衆衛生研修会（学校環境衛生編）	7月3日	日	14:00～ 15:50	神奈川県 総合薬事 保健セン ター		44	43	1
9	保険薬剤師のための保険研修会（基礎編）	7月10日	日	11:30～ 13:00	web開催		116	88	28
10	保険薬剤師のための保険研修会（実践編）	7月10日	日	14:00～ 17:00	web開催		80	60	20
11	第1回緑区薬剤師会臨床学術研修会	7月19日	火	19:30～ 21:00	web開催	緑区薬 剤師会	61	22	39

令和4年度認定研修会 受講者数一覧

No.	研修名	日程	曜日	時間	会場	共催	受講者数		
							総数	会員	一般
12	公衆衛生研修会（学校環境衛生検査技術編）	7月24日	日	10:00～ 13:05	神奈川県 総合薬事 保健セン ター		32	32	0
13	第3回鶴見区・神奈川区薬剤師合同研究会	7月28日	木	19:00～ 20:30	web開催	鶴見薬 剤師会	39	19	20
14	鎌倉市薬剤師会研修会	8月4日	木	19:00～ 21:00	web併用	鎌倉市 薬剤師 会	44	20	24
15	公衆衛生研修会①	8月7日	日	18:00～ 20:25	web開催		69	68	1
16	薬剤師倫理研修会	8月21日	日	13:30～ 16:45	web開催		42	41	1
17	神奈川県薬剤師会学術フォーラム	8月28日	日	9:05～ 10:40	web開催		146	143	3
				11:10～ 12:40			133	130	3
				13:15～ 14:45			139	136	3
18	第2回緑区薬剤師会臨床学術研修会	8月30日	火	19:30～ 21:00	web開催	緑区薬 剤師会	45	25	20
19	保険調剤の正しい理解のための研修会	9月4日	日	13:00～ 14:40	web開催		74	71	3
20	セルフメディケーション研修会～実例編～「くすり与健康相談薬局」取り組み紹介研修会	9月11日	日	14:00～ 15:45	神奈川県 総合薬事 保健セン ター		48	43	5
21	海老名市薬剤師会学術講演会	9月21日	水	19:15～ 21:00	web開催	海老名 市薬剤 師会	48	35	13
22	認知症対応力向上研修会	9月25日	日	13:00～ 17:00	神奈川県 総合薬事 保健セン ター		48	36	12

令和4年度認定研修会 受講者数一覧

No.	研修名	日程	曜日	時間	会場	共催	受講者数		
							総数	会員	一般
23	公衆衛生研修会②	10月2日	日	14:00～ 16:25	神奈川県 総合薬事 保健セン ター		41	41	0
24	褥瘡治療薬サミット in かながわ 2022	10月16日	日	13:00～ 17:20	神奈川県 総合薬事 保健セン ター	神奈川 県病院 薬剤師 会	29	22	7
25	神奈川区・鶴見区薬剤師合同研修会	10月20日	木	19:00～ 21:00	web開催	神奈川 区薬剤 師会	41	22	19
26	EBM研修会（基礎編）	10月23日	日	13:00～ 16:30	web開催	伊勢原 市薬剤 師会、 平塚中 郡薬剤 師会、 秦野市 薬剤師 会	29	22	7
27	薬剤師向け 在住外国人対応のため の「やさしい日本語」研修	10月23日	日	13:30～ 16:40	web開催	かなが わ国際 交流財 団 (協力) 医療× 「やさ しい日 本語」研 究会	18	14	4
28	第12回TYP-Net（鶴見若手薬剤師勉 強会）研修会	10月25日	火	19:15～ 21:00	web開催	鶴見薬 剤医師 会	29	14	15
29	第3回緑区薬剤師会臨床学術研修会	10月25日	火	19:30～ 21:00	web開催	緑区薬 剤師会	45	20	25

令和4年度認定研修会 受講者数一覧

No.	研修名	日程	曜日	時間	会場	共催	受講者数		
							総数	会員	一般
30	神奈川県・鶴見区薬剤師合同研修会	10月28日	金	19:00～ 20:30	web開催	神奈川県 薬剤師会	46	29	17
31	薬剤師倫理研修会	11月6日	日	13:30～ 16:45	神奈川県 総合薬事 保健セン ター		28	28	0
32	アンガーマネジメント研修会（臨床編）	11月13日	日	13:00～ 16:30	web開催	港南区 薬剤師会	22	11	11
33	鎌倉市薬事講習会・県下統一調剤事故防止研修会	11月17日	木	19:00～ 21:00	web開催	鎌倉市 薬剤師会	71	11	60
34	県下統一調剤事故防止研修会	11月17日	木	19:00～ 21:00	web開催	海老名 市薬剤師会	50	12	38
35	第13回TYP-Net（鶴見若手薬剤師勉強会）研修会	11月18日	金	19:15～ 21:00	web開催	鶴見薬 剤師会	32	14	18
36	漢方の理解促進に関する研修会～薬剤師編～	11月20日	日	14:00～ 15:40	神奈川県 総合薬事 保健セン ター		53	50	3
37	鶴見薬剤師会令和4年度県下統一調剤事故防止研修会	11月26日	土	19:00～ 20:30	web開催	鶴見薬 剤師会	58	15	43
38	EBM研修会（応用編）	11月27日	日	13:00～ 16:30	神奈川県 総合薬事 保健セン ター	川崎市 薬剤師会、 相模原 市薬剤師会	23	11	12
39	第7回神奈川県吸入療法ステップアップセミナー（初級編）	12月3日	土	19:00～ 21:00	web開催	NPO法 人吸入 療法ス テッ プア ップ をめ ざす 会	35	24	11

令和4年度認定研修会 受講者数一覧

No.	研修名	日程	曜日	時間	会場	共催	受講者数		
							総数	会員	一般
40	在宅医療研修会	12月4日	日	13:00～ 16:30	神奈川県 総合薬事 保健セン ター		36	34	2
41	調剤事故防止及び医療保険研修会	12月8日	木	19:00～ 22:00	web開催	相模原 市薬剤 師会	100	10	90
42	薬局開設者・管理者等が受けるべき 研修会～倫理研修～	12月10日	土	15:00～ 18:15	web開催		97	95	2
43	かかりつけ機能向上研修会～女性の 健康支援～	12月14日	水	19:00～ 20:40	web開催		112	110	2
44	栄養研修会	1月22日	日	14:00～ 16:00	神奈川県 総合薬事 保健セン ター		53	51	2
45	海老名市薬剤師会学術講演会	1月26日	木	19:10～ 21:00	web開催	海老名 市薬剤 師会	31	13	18
46	薬剤師のための予防接種研修会	1月29日	日	9:00～ 12:55	神奈川県 総合薬事 保健セン ター		54	54	0
47	研究倫理研修会	2月2日	木	19:00～ 20:45	神奈川県 総合薬事 保健セン ター		35	33	2
48	済生会神奈川県病院がん化学療法連 携研修会	2月2日	木	19:00～ 21:00	web開催	神奈川 区薬剤 師会	43	10	33
49	第8回神奈川吸入療法ステップアッ プセミナー（中級編）	2月4日	土	19:00～ 21:00	web開催	NPO法 人吸入 療法ス テッ プアッ プをめ ざす会	26	22	4

令和4年度認定研修会 受講者数一覧

No.	研修名	日程	曜日	時間	会場	共催	受講者数		
							総数	会員	一般
50	公衆衛生研修会③	2月12日	日	14:00 ~ 16:25	神奈川県 総合薬事 保健セン ター		43	38	5
51	第5回鶴見区・神奈川区薬剤師合同 研究会	2月12日	日	13:00 ~ 14:30	web開催	鶴見薬 剤師会	47	17	30
52	プレアボイド合同研修会	3月2日	木	19:00 ~ 21:00	web開催	神奈川 県病院 薬剤師 会	66	64	2
合 計							2,922	2,165	757

(2) リスクマネジメント等事業

① 薬局プレアボイドの事例収集の実施

薬剤師は、薬物治療において患者の安全を守るための重要な立場にあり、薬局プレアボイド事業は、その業務の「見える化」を図るために極めて有効な事業と考えて、事例収集事業を実施する。

(第8回薬局プレアボイド報告キャンペーン)

期 間：令和4年10月1日(土)～10月31日(月)

キャンペーン期間を含む令和4年度10月末までの報告数：561件

② プレアボイド合同研修会の開催

日 時：令和5年3月2日(木) 19:00～21:00

会 場：web開催

共 催：神奈川県病院薬剤師会

内 容：・2021年度神奈川県病院薬剤師会プレアボイド報告優秀事例受賞者講演
・2021年度神奈川県薬剤師会プレアボイド報告優秀事例受賞者講演

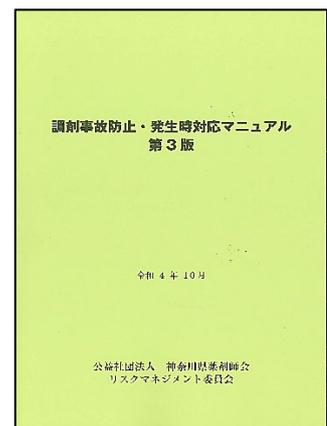
受講者：140名(会員64名/一般2名)(県病薬会員74名)

③ プレアボイドweb報告システムの運用

薬局プレアボイド報告の簡略化、収集事例の分析解析を目的にSalesforceを活用したweb報告システムを構築し、令和3年4月より運用を開始した。令和4年度は586件の報告があった。

④ 調剤事故防止・発生時マニュアル第3版の作製

平成25年に作製した第2版の会員への配付から9年経過したことから、第3版を2,800冊作製し会員へ配布した。



調剤事故防止・発生時マニュアル第3版表紙デザイン

⑤ 薬局コンプライアンスに関するリーフレット作製(法令遵守チェックシート)

令和元年の薬機法改正により、法令違反の防止と薬局開設者等が法令を遵守して業務を行うことの確保を目的として、令和3年8月1日から薬局開設者等に対し薬事に関する法令を遵守するための体制を整備することが義務付けられたことから、法令遵守チェックシートを2,500枚作製し会員へ配布した。



法令遵守チェックシートデザイン

⑥ 2022 県下統一調剤事故防止研修会の開催

開催団体：地域薬剤師会 30 団体

開催時期：令和 4 年 11 月～令和 5 年 3 月

内 容：・神奈川連合会の取組について

・薬局における多重受診に関する実態調査について

・法令遵守のチェックシートについて

・行政に寄せられた薬局に対する意見・苦情、注意事項等

受講者：1,257 名

⑦ 調剤事故防止検討会の開催

日 時：令和 5 年 2 月 2 日（木）18:00～19:00

会 場：総合薬事保健センター

内 容：実際の調剤事故事例解説

⑧ リスクマネジャー会議の開催

調剤事故等の減少などのため、各地域のリスクマネジャーを集めた会議を開催し、情報交換等を行った。

ア 第 1 回リスクマネジャー会議

日 時：令和 4 年 7 月 7 日（木）19:30～20:30

会 場：web 開催

内 容：偽造処方箋・多重受診の対応について情報交換

・行政から多重受診被保険者に関する情報共有の通知があった事例

山田祐次氏（平塚エリアリスクマネジャー）

・過去に多重受診を行使して再発した事例

加藤大雅氏（藤沢エリアリスクマネジャー）

・広範囲のエリアで多重受診を繰り返している事例

山田祐次氏（平塚エリアリスクマネジャー）

三堀賢太郎氏（伊勢原エリアリスクマネジャー）

・短期間に複数の医療機関を受診して向精神薬を入手した事例

高梨哲也氏（茅ヶ崎エリアリスクマネジャー）

イ 第 2 回リスクマネジャー会議

日 時：令和 4 年 9 月 8 日（木）19:30～20:35

会 場：web 開催

内 容：・神奈川連合会の取組について

講師 堤俊介氏（健保連神奈川連合会事務局長）

・薬局における多重受診に関する実態調査について

講師 大貫ミチ氏（リスクマネジメント委員会リスク対策小委員会）

・法令遵守のチェックシートについて

講師 篠田豪氏（リスクマネジメント委員会薬局コンプライアンス小委員会）

・薬局プレアボイド報告キャンペーンについて

講師 三堀賢太郎氏

（リスクマネジメント委員会薬局プレアボイド小委員会）

(3) 広報事業

① 広報推進事業

薬局・薬剤師の機能・職能を県民に広くPRするために、公益社団法人神奈川県薬剤師会のFacebookとInstagramに定期的に投稿を行うとともに、地域薬剤師会からの投稿も受け付けた。

また、SNSの発信促進として、公式SNS案内チラシを作製するとともに、神奈川県薬剤師会学術フォーラム県民公開講座にて来場者用のSNS発信ブースを地域保健委員会協力のもと作製、設置し、啓発活動を行った。

さらに、県民が薬剤師を身近な存在に感じ、薬に関することを気軽に相談してもらえよう、神奈川県薬剤師会公式YouTubeを開設し動画のアップロード及び、令和5年度アップロード用の動画の撮影を行った。

令和4年度ソーシャルメディア投稿結果

投稿日	投稿内容	区分	投稿者	Facebook	Instagram
4/4	ウクライナの薬剤師等に対する人道的支援について	県薬	広報委員会	○	-
4/19	横浜駒岡地域ケアプラザでのお薬相談会	地域	鶴見薬剤師会	○	○
5/19	緊急避妊薬や性の健康についての啓発キットについて	県薬	広報委員会	○	○
5/24	5.15セルフメディケーション研修会 総論編	県薬	地域保健委員会	○	○
6/2	モバイルファーマシー展示inハマフェスY163	地域	横浜市薬剤師会	○	○
6/6	5.29公衆衛生研修会（薬物乱用防止編）	県薬	公衆衛生・学薬委員会	○	-
6/13	6.5薬局製剤研修会	県薬	地域保健委員会	○	○
6/14	6.5薬局製剤研修会（事前準備）	県薬	地域保健委員会	○	○
6/17	6.12薬史学から薬剤師に必要な倫理を学ぶ	県薬	倫理研修委員会	○	○
6/24	【広報定期投稿】かなやくほうすけ	県薬	広報委員会	○	○
7/21	人はなぜ薬物依存症になるのか？ （関東ブロック第52回学術大会市民公開講座）	県薬	常務理事会	○	○
7/25	【広報定期投稿】モロヘイヤの杯？ヒュギエイアの杯です	県薬	広報委員会	○	○
7/28	8.28神奈川県薬剤師会学術フォーラム県民公開講座	県薬	広報委員会	○	○
8/1	エビベン講習会	地域	相模原市薬剤師会	○	○
8/2	公衆衛生研修会（学校環境衛生検査技術編）	県薬	公衆衛生・学薬委員会	○	○
8/8	神奈川県薬剤師会学術フォーラムのお知らせ	県薬	広報委員会	○	○
8/19	中学生講座2022	地域	相模原市薬剤師会	○	○
8/30	神奈川県薬剤師会学術フォーラムのブース	県薬	広報委員会	○	○
9/2	【広報定期投稿】印籠（いんろう）の役割	県薬	広報委員会	○	○
9/6	薬史学から倫理を学ぶ	県薬	倫理研修委員会	○	○
9/15	令和4年度相模原市総合防災訓練	地域	相模原市薬剤師会	○	○
9/25	2022年度セルフメディケーション研修会 ～実例編・「くすり」と健康相談薬局」取り組み紹介研修会	県薬	地域保健委員会	○	○
9/28	【広報定期投稿】マーク・トウェインと健康	県薬	広報委員会	○	○

投稿日	投稿内容	区分	投稿者	Facebook	Instagram
10/6	認知症対応力向上研修会	県薬	地域保健委員会	○	○
10/12	公衆衛生研修会②	県薬	公衆衛生・学薬委員会	○	-
10/12	薬草探索健康ウォーキング	地域	横浜市薬剤師会	○	○
10/17	【広報定期投稿】ピンクリボンキャンペーン月間	県薬	広報委員会	○	○
10/19	2022くすりと健康すこやかフェア	県薬	公衆衛生・学薬委員会	○	○
10/27	さがみはらスポーツフェスティバルについて	地域	相模原市薬剤師会	○	-
11/1	湘南医療大学薬学部内覧会	地域	横浜市薬剤師会	○	○
11/10	褥瘡治療薬サミットinかながわ2022を開催しました	県薬	医療・介護保険委員会	○	○
11/14	つるみ臨海フェスティバル お薬相談会	地域	鶴見薬剤師会	○	○
11/17	【広報定期投稿】石鹸による手洗い効果	県薬	広報委員会	○	-
12/1	ふるさと港北ふれあいまつり	地域	港北区薬剤師会	○	-
12/7	漢方の理解促進に関する研修会～薬剤師編～	県薬	地域保健委員会	○	○
12/12	在宅医療研修会	地域	横浜市薬剤師会	○	○
12/22	年末に向け抗原検査キットを一人2個と解熱消炎鎮痛剤を準備しましょう	県薬	広報委員会	○	○
12/27	在宅医療研修会 開催報告	県薬	医療・介護保険委員会	○	○
12/28	【広報定期投稿】目薬の正しい使い方	県薬	広報委員会	○	○
12/28	かかりつけ機能向上研修会	県薬	地域保健委員会	○	○
1/26	コーラと薬剤師の関係	県薬	広報委員会	○	○
1/31	栄養研修会	県薬	公衆衛生・学薬委員会	○	○
2/6	薬剤師のための予防接種研修会	県薬	公衆衛生・学薬委員会	○	○
2/8	県民公開講座事前案内	県薬	地域保健・広報委員会	○	○
2/10	献血推進活動 大船駅東口(芸術館通り)	県薬	公衆衛生・学薬委員会	○	○
2/17	【広報定期投稿】チョコレートは薬？	県薬	広報委員会	○	○
3/8	献血推進活動 大船駅東口(芸術館通り)	県薬	公衆衛生・学薬委員会	○	○
3/15	公衆衛生研修会③「診断推論」	県薬	公衆衛生・学薬委員会	○	○
3/16	県民公開講座案内	県薬	地域保健・広報委員会	○	-
3/16	「薬剤師に求められる研究倫理を学ぶ～2022年の改正を踏まえて～」に参加しました	県薬	倫理研修委員会	○	○
3/20	県民公開講座案内(3.16同内容)	-	-	-	○
3/22	さがまちカレッジ薬・健康市民講座	地域	相模原市薬剤師会	○	○
3/24	丘の上春まつり(健康測定会&相談会)	地域	鶴見薬剤師会	○	○
3/29	【広報定期投稿】星の王子さま	県薬	広報委員会	○	○

県薬：40件//地域：13件

53

47



SNS発信ブース



SNS案内立看板などのグッズ

(神奈川県薬剤師会学術フォーラム県民公開講座)



SNS案内チラシデザイン

(令和4年度 YouTube アップロード動画)

- ・子供への目薬のさし方

(令和4年10月12日UP)



- ・赤ちゃんへのお薬の飲ませ方

(令和4年12月6日UP)



- ・子供の坐薬の使い方

(令和5年2月12日UP)



② 会誌「薬壺」発行事業

薬剤師の学術的資質の向上を促すとともに薬学・薬業の進歩発展に寄与するため、会誌「薬壺」を発行し、薬学・医学領域に関する情報や医薬品情報、厚生労働省及び神奈川県への動向、薬業界の話題等を掲載した。

- ・発行：6回（隔月奇数月）各4,470部
- ・配送先：会員、各都道府県薬剤師会、保健所、薬科大学、新聞社 他

・掲載内容等：

発行月号	頁数	薬壺編集委員会企画記事
5・6	83	① 神奈川県薬剤師会学術フォーラム開催への道 ② 新薬紹介
7・8	47	① 麻黄の国内生産に向けて ② 神奈川県薬剤師会学術フォーラム 予告編
9・10	57	① 暮らしに役立つ楽しい化学！（第1回） ② 新薬紹介
11・12	63	① 神奈川県薬剤師会学術フォーラム報告 ② 写真でつづる戦後の日本とアメリカの薬剤師交流のあゆみ（第1回） ③ 暮らしに役立つ楽しい化学！（第2回） ④ 新薬紹介
1・2	61	① 牧野富太郎の原点を訪ねて ② 写真でつづる戦後の日本とアメリカの薬剤師交流のあゆみ（第2回） ③ 暮らしに役立つ楽しい化学！（第3回） ④ 必見！薬学関連書籍
3・4	59	① 写真でつづる戦後の日本とアメリカの薬剤師交流のあゆみ（第3回） ② 暮らしに役立つ楽しい化学！（第4回） ③ 新薬紹介



（薬局等取材）

先進的な事業、独創的で広める価値あるアイデアや活動を行っている薬局、薬剤師会等を取材し、薬壺への掲載を予定していたが、取材候補への打診の結果、今年度の実施は困難となり、中止した。



③ ホームページ運営事業

会員に対する情報の充実や利便性、また、広く県民の理解が得られるよう、令和5年度のホームページリニューアルに向けて、ホームページ構築企業の募集を行った。4社の応募があり、書類審査、プレゼンテーションを実施し、ホームページ委託業者を決定した。

また、ホームページ掲載期間基準に準じて投稿ページの整理を行い、現ホームページから新ホームページの移行に向けて準備を行うとともに、新ホームページの構築に係る委託業者とのミーティング、経過報告等を実施し、令和5年度夏のリニューアルオープンに向けて対応を協議した。

・書類審査（第2回広報委員会）

日 時：令和4年7月29日（金）18:30～19:40

審査者：広報委員会11名（事前評価提出2名含む）、事務局3名

・プレゼンテーション

日 時：令和4年9月7日（水）10:00～17:30

審査者：広報委員会7名、事務局7名

④ メールマガジン発信事業

新型コロナウイルス感染症関連情報、研修会案内等、91件の情報を配信した。

主な内容は次のとおり。

- ・04月01日号 令和4年度調剤報酬改定 疑義解釈資料の送付について（その1）「連携強化加算」の施設基準等の取扱いについて（お知らせ）
- ・04月28日号 神奈川県薬剤師会研修会のご案内
- ・06月03日号 健康測定機器の貸し出しについて 新機種のご案内
- ・07月26日号 【日本薬剤師会より】新型コロナウイルス感染症の感染拡大下における薬局での医療用抗原検査キットの取扱いについて
- ・08月16日号 神奈川県薬剤師会学術フォーラム是非ご参加ください（お知らせ）
- ・09月26日号 薬剤師資格証（HPKI）の申請について（ご案内）
- ・11月04日号 令和4年度神奈川県医療機関等物価高騰対応支援金の概要について
- ・12月28日号 薬剤師資格証早期申請のお願い
- ・01月25日号 第20回かながわ薬剤師学術大会の会員発表の演題募集について
- ・03月06日号 令和5年3月1日以降の薬局における自宅療養等の患者に対する薬剤交付支援事業について
- ・03月22日号 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの変更に伴う医療提供体制及び公費支援の見直し等について

（4）会員に向けた各種支援

- ① 薬局・医薬品販売業、医薬品製造業・製造販売業、毒劇物登録、高度管理医療機器販売業等の更新に係る各種書類を送付し、手続き方法を案内した。
（令和4年4月～令和5年3月、602店舗・851件）
- ② 日本薬剤師賠償責任保険（個人情報漏えい保険）、アンチ・ドーピング活動保険の加入希望者にパンフレットを送付した。
- ③ 薬剤師賠償責任保険加入手続きに伴う日薬からの会員登録確認に対応した。
- ④ 麻薬取扱者免許の継続申請及び令和4年麻薬年間届を所轄保健所へ提出するよう該当者へ申請書類等を送付した。1,839件（令和4年9月）
- ⑤ 神奈川県薬剤師会への入会促進及び本会会員への支援案等を検討するため、会員の声を収集すべく「神奈川県薬剤師会に関するアンケート」を実施した。
アンケート結果から、神奈川県薬剤師会の会員メリットが認知されていないことが判明したため、会員特典を打ち出した入会案内チラシを作製した。また、特典内容の詳細を会員へわかりやすく案内するため、令和5年度にホームページの入会案内コーナーの改良をすべく対応を進めた。（再掲）（P40参照）

IV 収益事業

(1) 会議室等賃貸事業

横浜市薬剤師会等9団体(4階)、ヴェオリア・ジェネッツ(株)(1・5階)、(株)矢野建築設計事務所(3階305号室)に引き続き事務室を賃貸した。

また、会議室利用状況は、合計907件であり、前年度842件と比べて増加となった。

〈別表2〉

(2) 書籍等販売事業

薬事関係図書の斡旋販売及び用紙等の販売を行った。

- ・薬事関係図書の斡旋販売：72件(1,299冊) 斡旋販売手数料281,766円
- ・用紙等販売：218件800,200円

(3) 神奈川県総合薬事保健センターLED化工事

大手メーカーの蛍光灯製造中止、電気代節減、省エネ推進等のため、令和元年度に実施した1階多目的ホール等のLED化に続き、残る全館のLED化工事を令和4年9月、12月に実施した。

(4) 神奈川県総合薬事保健センターの長寿命化に向けた取組

① 中央監視システムの更新

給排水、空調及び電力設備等を管理する中央監視システムについて、建設した際に導入したシステムの交換を令和5年3月に実施した。

② 5階空調設備等の調査

築後22年が経過した神奈川県総合薬事保健センターを今後も長期間健全な状態で利用できるよう、(株)ヴェオリア・ジェネッツが検査室等として使用し、他の階とは異なる特殊な環境にある5階部分の空調設備関係及び屋上に設置された室外機等の現状について、令和5年2月に調査を行った。

令和4年4月～令和5年3月会場利用状況

月	部屋	ホール		301号室		302号室		303号室		304号室		306号室		307号室		合計				前年度						
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	計	利用率	計	利用率					
4月	外部	3	2	1	6	0	0	0	0	2	1	0	3	1	1	2	4	1	2	1	4	30	588	5%	25	4%
	内部	0	0	1	1	0	0	0	1	2	3	0	3	0	3	2	5	2	3	0	5	19	588	3%	27	5%
5月	外部	2	2	2	6	2	8	1	11	0	0	0	3	2	2	0	4	2	0	0	2	29	525	6%	30	6%
	内部	2	2	1	5	1	2	2	5	0	0	1	4	5	0	1	4	5	1	1	4	32	525	6%	26	5%
6月	外部	1	1	2	4	1	1	0	2	1	1	3	1	1	1	3	1	0	1	1	1	15	630	2%	36	6%
	内部	2	3	0	5	0	1	3	4	0	1	2	2	4	0	2	6	10	3	1	6	39	630	6%	26	4%
7月	外部	10	8	1	19	0	3	1	4	0	0	0	0	0	0	0	3	1	1	0	2	28	630	4%	32	5%
	内部	3	3	3	9	2	2	1	5	2	2	1	5	2	2	3	2	7	2	3	2	43	630	7%	46	7%
8月	外部	3	3	0	6	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	651	1%	8	1%
	内部	1	1	0	2	4	2	1	7	1	3	1	5	1	2	2	5	1	2	1	4	30	651	5%	43	7%
9月	外部	2	2	1	5	0	2	0	2	1	1	0	2	1	1	0	2	2	1	0	3	16	630	3%	30	5%
	内部	5	5	3	13	3	6	0	9	1	1	0	2	3	4	1	8	3	4	4	11	60	630	10%	29	5%
10月	外部	1	5	2	8	1	4	1	6	0	0	0	4	2	2	0	4	1	2	1	4	30	651	5%	60	9%
	内部	3	4	2	9	3	4	3	10	1	5	1	7	3	3	4	10	7	10	9	26	98	651	15%	45	7%
11月	外部	10	12	5	27	1	2	2	5	0	0	0	1	1	0	2	1	1	2	0	0	38	630	6%	53	8%
	内部	2	2	2	6	1	2	1	4	1	5	0	6	2	2	0	4	2	4	1	7	38	630	6%	49	8%
12月	外部	6	7	6	19	2	4	1	7	0	0	0	2	1	0	3	2	1	0	3	4	53	567	9%	39	7%
	内部	2	5	3	10	3	3	2	8	1	3	2	6	3	3	1	7	3	4	8	1	53	567	9%	41	7%
1月	外部	7	8	4	19	3	4	0	7	0	0	0	1	1	0	2	3	3	1	7	2	41	546	8%	48	9%
	内部	2	2	1	5	2	3	1	6	0	0	0	1	3	4	0	1	3	2	5	0	28	546	5%	20	4%
2月	外部	4	4	3	11	2	3	1	6	0	0	0	2	2	0	4	2	2	1	5	1	33	609	5%	27	4%
	内部	1	3	2	6	0	2	0	2	0	0	1	2	2	5	1	2	2	5	0	1	28	609	5%	20	3%
3月	外部	5	7	3	15	2	3	3	8	0	0	0	3	3	1	7	2	1	2	5	2	47	651	7%	54	8%
	内部	3	2	2	7	3	4	3	10	2	4	3	9	4	5	4	13	2	4	4	10	72	651	11%	28	4%
合計	外部	54	61	30	145	14	45	10	69	0	0	0	33	15	15	3	33	18	20	11	49	131	7,308	5%	442	6%
	内部	26	32	20	78	22	33	17	72	8	24	10	42	19	28	26	73	21	41	42	104	138	7,308	7%	400	6%

(利用率は小数点以下を四捨五入する)

内部は県薬剤師会の利用分です。

その他

地域薬学ケア専門薬剤師認定制度に係る事業

日本薬剤師会からの依頼に基づき、一般社団法人日本医療薬学会の「地域薬学ケア専門薬剤師認定制度」について、研修希望者と研修先（基幹施設：病院）の調整を図るマッチング業務を受託し実施した。

① 地域薬学ケア専門薬剤師研修調整委員会の設置

委員 橋本真也、竹内尚子、小松敏彰

実施方法 Eメールによる書面会議

② 令和4年度マッチング結果

項目	人数等	内 訳	
		地域薬学ケア専門薬剤師	同 副領域：がん
1. 申請者	2名	1名	1名
2. 受入状況	3施設5名	1施設2名	2施設3名
3. マッチング成立者	2名	1名	1名
4. マッチング不成立者	0名	0名	0名

令和4年度 公益社団法人 神奈川県薬剤師会 事業計画

新型コロナウイルス感染症は、令和3年度も引き続き拡大と縮小を繰り返しながら社会経済活動や県民生活に影響を及ぼしました。しかしながら、ワクチン接種や様々な対応策により、本会事業については一部の啓発事業等に影響があったものの、前年度の経験を踏まえ、感染拡大の際はwebによる委員会・研修会の開催、縮小の際にはリアル開催と臨機応変に対応することができました。

令和4年度においては、引き続き新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない状況ではありますが、これまでの経験を活かし、公益社団法人として医薬品供給体制の確保、公衆衛生の維持など本会に求められている使命を積極的に果たすため、コロナ以前同様に円滑な事業推進を図り、更なる成果を上げる必要があります。

また、薬剤師には、他の医療職種と連携しつつその専門性を発揮し、県民に安全かつ有効な医薬品の供給を果たすことが求められていることから、くすり与健康相談薬局の認定数の拡大を図るとともに、薬局・薬剤師の機能をサポートしていくための施策の展開にも取り組んでいくことが必要です。

さらに、令和3年8月に認定薬局制度が開始され、県内では、既に130を超える（令和3年12月末）「地域連携薬局」が認定され、「専門医療機関連携薬局」も徐々に増えているところです。とりわけ地域連携薬局は、かかりつけ薬局・薬剤師を普及・促進するものとして、平成27年度から展開してきた「くすり与健康相談薬局」の機能に対応するもので、本会としては積極的に取り組むべき制度でありますので、認定をめざす薬局の取組を支援することも重要です。

一方で、上記のような取組をより一層強化していくためには、会員サービスを充実して新規会員の確保を図るとともに、前年度に改編・整備した委員会活動を中心に、本会の活動基盤をより一層強固なものとしなければなりません。

こうした基本スタンスに立って、令和4年度の事業の推進にあたっては、新型コロナウイルスに影響されない事業展開を図るとともに、次に掲げる事業を重点的に推進していくこととします。

- 1 会員がより参加しやすい研修会の開催等 web とリアルを使い分け臨機応変に対応するとともに、web 活用のための更なる人材育成を図ること等により、生涯学習認定制度に基づく研修事業について、認証プロバイダーとしての強みを活かしつつ充実強化を図ります。
- 2 地域・職域薬剤師会との共催研修の充実、機材貸出等による web 研修開催への支援等、地域・職域薬剤師会との連携を強化します。
- 3 令和3年度に初めて web 開催した「かながわ薬剤師学術大会」については、これまでの実績を踏まえて、実施会場を含めて開催のあり方を議論し、本会として効果的・効率的、かつ会員が参加しやすい充実した大会にすべく見直しを行います。

- 4 くすりと健康相談薬局の更なる認定数の拡大を図り、当初設定した認定目標 500 薬局のうち、令和 4 年度中に 300 薬局を達成するとともに、かかりつけ薬局・薬剤師の機能をサポートしていくための施策の展開にも取り組みます。
- 5 薬局・薬剤師の質の向上を図るため、「くすりと健康相談薬局」「生涯学習認定制度」等を活用し、薬局・薬剤師の責務を果たすことのできる事業を展開します。
- 6 神奈川県等と共催で薬物乱用防止の街頭キャンペーンを実施するとともに、学校薬剤師が中心となって県下の児童・生徒を対象とした薬物乱用防止教室を開催することにより、青少年の間に増加しつつある薬物乱用の撲滅を図るための啓発事業等を積極的に行います。
- 7 学術研究を推進し、県民、行政、関連団体に対し、エビデンスに基づいた薬剤師職能を示します。
- 8 県下一斉相談週間、くすりと健康すこやかフェア等、県下の薬局・薬剤師が参加可能な県民の健康増進及び福祉の向上に資する施策を展開します。
- 9 本会及び薬局・薬剤師の活動について、会員への周知を図ることはもとより、広く県民の理解が得られるよう、令和 5 年度のホームページリニューアルを目指して、見やすく充実した内容になるよう検討を進めます。また、会員に重要情報を速やかに提供できるようメールマガジンの登録を促進します。
- 10 新規会員の確保を図るため、地域薬剤師会の協力を得ながら、入会促進活動を展開するとともに、会員サービスの充実を図る施策を検討します。

令和4年度事業体系図

〈大柱〉

〈小柱〉

I 公益事業

I-1

薬学・薬業の進歩
発展に関する事業

1. かながわ薬剤師学術大会の開催
2. 日本薬剤師会学術大会等への参加・発表
3. 薬学研究への助成
4. 臨床薬学研究に関する倫理審査
5. 薬学生育成に関する事業
6. 新しい薬局・薬剤師のあり方についての検討

I-2

児童・生徒等に
関する事業

1. 学校環境衛生管理事業
2. 薬物乱用防止啓発事業の支援
3. 医薬品適正使用教室の推進
4. 学校保健向上事業

I-3

医薬品適正使用に
関する事業

1. くすり与健康すこやかフェアの開催
2. 薬と健康の週間事業の支援
3. 医薬品適正使用関連事業の推進
4. セルフメディケーションの推進
5. くすり与健康相談薬局の推進
6. 薬事情報センターの充実

I-4

医療安全に関する
事業

1. 神奈川県医療安全推進セミナーへの参画
2. 県民生活上の医薬品等使用の安全確保事業
3. 多重受診防止対策及び偽造処方箋対策の推進
4. 高度管理医療機器等継続研修会の開催
5. 薬害関連資料収集検討

I-5

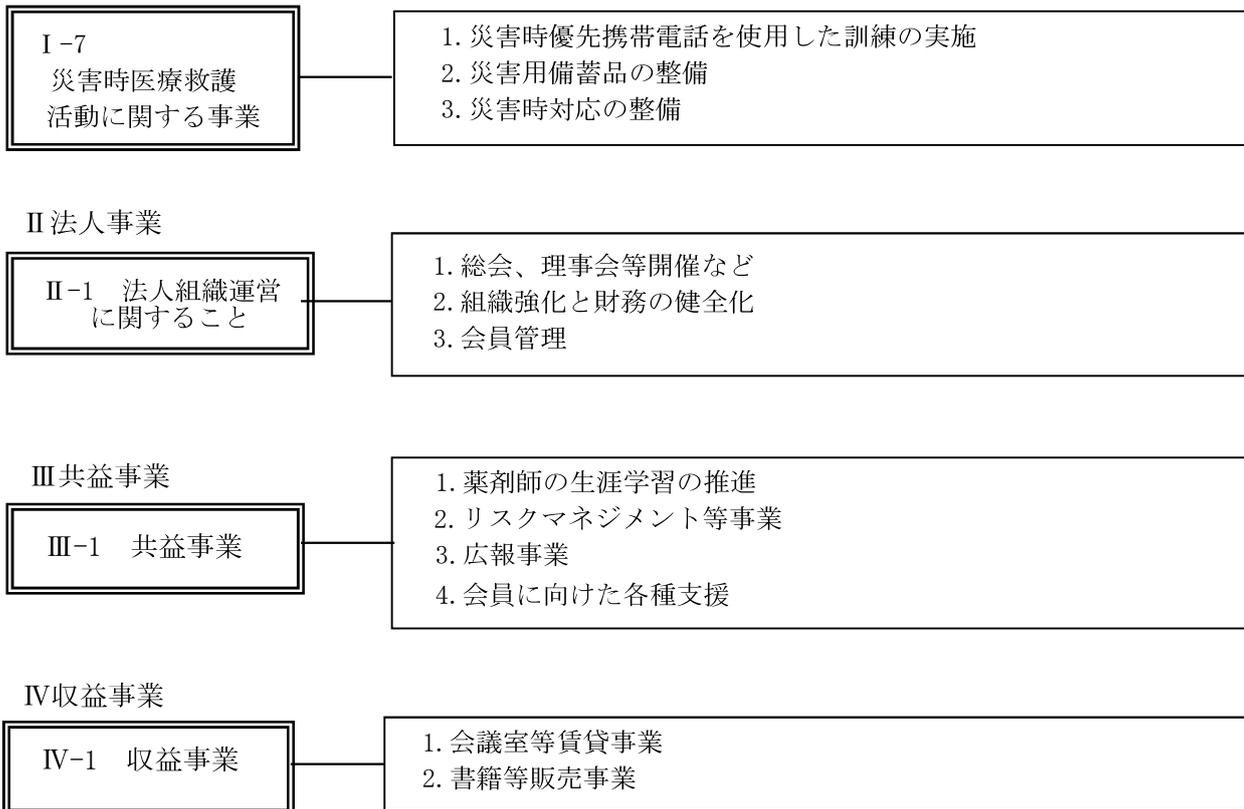
公衆衛生に関する
事業

1. 献血事業への協力、推進
2. 薬物乱用防止の啓発
3. 公衆衛生向上事業
4. かながわ健康財団等事業への参画

I-6

地域医療に関する
事業

1. 保健、医療、福祉関係者との連携強化による在宅医療・介護の推進
2. 薬・薬連携の強化と相互の資質向上
3. 後発医薬品の使用促進
4. 医薬分業の質的向上
5. 外国籍県民に対する保健・医療・福祉の支援
6. 地域・職域薬剤師会との連携・支援の充実
7. 健康サポート機能向上に関する事業の推進



令和4年度 神奈川県薬剤師会 各種委員会委員一覧

名称	担当副会長	担当専務・常務理事	担当理事	委員 (◎委員長 ○副委員長)						担当課
組織会員	後藤 知良 長津 雅則	竹内 尚子 寺師三千彦	坂本 悟 泉 紀久恵	北川 尚代 ◎市川 浩茂 ○金林 日向	関水 康成 福岡 恒雄	櫻井 啓祐 菅野 宏一 熊井 佳子	荒澤 実 馬瀬 大介 田村 英樹		管理課	
広報	後藤 知良 橋本 真也	塚本 久美 久保田充明	石渡 宏衛 大岡 元	大島 幸徳 藤田 大輔	○中里 裕之 吉川 武寿	持田 雄也	◎澤田 寛之		管理課	
薬壺編集	後藤 知良	塚本 久美 伊藤 啓	森井 広樹 大岡 元	吉川 武寿 菅野 浩	○浅野 日まりこ 田村 理	◎関根 澄江 中尾 圭佑	飯田 京子		管理課	
生涯学習	橋本 真也	竹内 尚子 久保田充明	阿部 正隆 福嶋 仁	木村 太二 鈴木 良雄 三溝 和男 熊谷圭二郎	◎三澤 喜彦 ○柿沼 貞之 杉崎 薫	高橋 葉月 飯塚 徹 吉山 友二	友田 健 小泉 直也 山村 重雄		事業課	
医療・介護保険	長津 雅則	佐藤 克哉	阿部 正隆 夏目 福嶋	梶谷 浩義 宮本 祐亮 露木 聡史 江島慎太郎	○川村 幸久 野田和多流 亀山 俊 ◎藤本 直樹	河野 一規 今井 良紀 長沼 寿志	林 成昭 三浦 健太 ○小林 弘忠		事業課	
公衆衛生・学薬	後藤 知良	伊藤 啓 佐藤 克哉	唐澤 淳子 石渡 宏衛 金子 八嶽	永田 浩美 ◎和田 野歩 小泉 貴子 伊藤 一	濱地 秀典 ○水野 関根 藤原正一郎	優作 泰彦 寿樹 友章 拓也	○油谷 由美 青木 紀恵 大澤佳奈子 小出 彰宏	芝坂 洋子 神原 大輔 滝澤 聖一	事業課	
地域保健	長津 雅則	佐藤 克哉 塚本 久美	唐澤 淳子 夏目 善文	丸岡 沙織 宇井 敬 市川 和子	田中 大嗣 鷺山 毅 樋島 学	○林 直子 ◎大島 崇弘 澤田 弘之	○堀川 壽代 鈴木 大介		事業課	
リスクマネジメント	後藤 知良	伊藤 啓 佐藤 克哉	泉 紀久恵 森井 広樹 大岡 元	野村 清司 星野 高志 ○村上 和宣 太田美智子	◎石井 泰彦 大貫 ミチ 白井 友章 芦塚 拓也	白子 順一 篠田 豪 小川 亮子 原 和夫	金 泰烈 新田 淳史 三堀賢太郎 古平 圭吾		事業課	
倫理研修	橋本 真也	竹内 尚子	山形 光正 菅野 君子 金子 弘之	◎斉藤 美月 小橋 紀子	村山 慶矩	○安藤 典幸	山村 翔		事業課	
学術大会実行	後藤 知良	竹内 尚子 寺師三千彦	山形 光正 菅野 真介	勢登 祐志 ○齋藤 邦夫	河野 光希 渡邊 千括	◎中村 正樹	鈴木 康生		事業課	
実務実習	橋本 真也 長津 雅則	久保田充明	坂本 悟 加藤 真介	加藤 孝平 石黒 哲夫 上田 知弘 難波 昭雄	石川 弓子 芦刈 典子 駒井 元彦 婦川 貴博	矢野 裕一 寺杣 智子 廣原 正宜 ○須田 哲史	河野 和宏 ◎片山 周也 日下部吉男 ○木村久美子		事業課	
くすりと健康相談 薬局運営協議会	後藤 知良 橋本 真也 長津 雅則	竹内 尚子 全常務理事	-	益山 光一	今井 澄江	篠塚 達雄			事業課 管理課	
代議員選挙管理	後藤 知良	竹内 尚子 寺師三千彦	八嶽 広幸	吉原 睦子 岡野 克樹 ◎井上 哲男	鈴木 康久 朋子 浩一	○越田 良仁 小林きぬ子 狭間 純	山田 修 石内 正佳		管理課	
総会議事運営	後藤 知良	竹内 尚子 寺師三千彦	八嶽 広幸	福司山倫弘 澤田 弘之 石井 豊	○松原 幸三 鈴木 康生 渡邊 幸一	星野 高志 ◎鈴木 大介 定村 洋士	大貫 善彦 高橋 善彦		管理課	
役員選挙管理	後藤 知良	竹内 尚子 寺師三千彦	八嶽 広幸	石川 弓子 岡野 克樹 井上 哲男	鈴木 康久 中村 浩一	◎越田 良仁 小林きぬ子 川口 健次	山田 修 ○今井 和成		管理課	
第2次公益法人運営特別 会費検討委員会	後藤 知良	竹内 尚子 伊藤 啓 寺師三千彦	-	高木 健司 ◎山下 耕司 伊藤 一	鈴木 康久 橋川 博 石井 豊	嶋崎 眞義 ○白井 得雄	鈴木 和巳 神原 章喜		管理課	
新しい薬局・薬剤師のあり方検討WG	後藤 知良	◎佐藤 克哉 久保田充明 塚本 久美	-	玉田 慎二	秋葉 保次				事業課 管理課	
倫理審査会	-	-	-	竹内 尚子 武藤 清川	高橋 良二 大澤 正俊	◎上村 直樹 高橋 省三	今井 澄江 小松 順子		管理課	

敬称略

令和4年度神奈川県薬剤師会組織図

